

能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(令和7年度対象)

令和8年8月

能代市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	1
1	趣旨	
2	事務点検・評価の実施	
3	事務点検・評価の方法	
4	事務点検・評価の流れ	
II	事務点検・評価の結果	3
1	学識経験者の総合的意見	
2	施策体系と評価一覧	
	基本目標 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進	
①	学校・家庭・地域の連携促進	9
②	親子で学び合う機会の提供	1 5
③	家庭教育の支援	1 6
④	読書活動の推進	1 7
⑤	食育の推進	1 8
	基本目標 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進	
①	主体的で創意ある教育活動の推進	2 4
②	心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進	2 6
③	基礎学力の向上を図る学習指導	2 9
④	幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	3 4
⑤	安全・安心な学校教育の充実と環境の整備	3 7
	基本目標 3 より心豊かで生き活きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進	
①	生涯にわたる多様な学びの機会の提供	4 5
②	学びと活動をつなげる環境づくり	4 8
③	若者の主体的な活動や地域活動への参画推進	5 0
	基本目標 4 ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興	
①	子どもの文化体験活動支援	5 3
②	地域固有の文化芸術の継承	5 5
③	文化財等の調査・保存・活用の推進	5 7
	基本目標 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進	
①	学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	6 4
②	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	6 6
③	スポーツを活用した地域の活性化	6 8
④	市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	7 0
III	教育委員会の運営状況	7 2
1	教育委員会の開催状況	
2	教育委員の活動状況	

I 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「事務点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出し公表します。

2 事務点検・評価の実施

能代市では、「学び合う 感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」を基本理念に、最優先すべき目標を「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」と定め、令和5年度から5年間を計画期間とした「能代市教育等の振興に関する施策の大綱」（以下「大綱」という。）を令和5年3月に策定しました。

事務点検・評価の実施にあたっては、この大綱を踏まえ、次により行います。

（1）事務点検・評価の位置づけ

事務点検・評価は、大綱の進行管理として実施し、第2次能代市総合計画の進行管理と併せてPDCAサイクルを確立し、より効率的な事業進捗を図るとともに、効果的な教育行政を推進します。

（2）事務点検・評価の対象

事務点検・評価の対象は、大綱の基本目標及び施策の方向性に沿った主な事業や取組とし、その実績や成果を自己点検、自己評価したうえで、課題と今後の方向性を整理します。

3 事務点検・評価の方法

事務点検・評価は、目標に対する達成状況や成果等を基準に自己評価を行い、「目標を上回る」、「ほぼ目標どおり」、「目標をやや下回る」、「目標を大幅に下回る」の4区分とし、今後の取組の方向性は、「拡充」、「継続」、「廃止検討」、「その他」の4区分とします。

また、事務点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から外部評価をしていただきます。

秋田大学教育文化学部長	大 橋 純 一 氏
元能代第二中学校校長	佐 藤 俊 之 氏

4 事務点検・評価の流れ

（1）所管課による事務点検・評価

教育部各課及び施設等は、所管の対象事務について、事務点検・評価案（事務点検・評価シート）を取りまとめます。

(2) 内部評価

所管課がまとめた事務点検・評価案を部内検討し、次年度に向けた課題や今後の取組の方向性を定めます。

(3) 学識経験者による外部評価

事務点検・評価案に関して学識経験者の外部評価を経て、事務点検・評価報告書（以下「報告書」という。）を作成します。

(4) 教育委員会の議決

報告書を教育委員会に諮り議決をします。

(5) 議会への提出及び公表

報告書を議会へ提出し、ホームページ等で市民に公表します。

(6) 報告書の活用

能代市総合計画の第4期実施計画や翌年度予算編成において、事務点検・評価を踏まえた的確な対応に努めます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 事務点検・評価の結果

1 学識経験者の総合的意見

大橋 純一 氏

本年度の取組からは、子どもの学びを支える学校教育、生涯にわたる学習機会の提供、地域文化の継承と活用、そしてスポーツを通じた健康づくりと地域活性化の各側面が、それぞれの分野で着実に推進されていることが読み取れました。またこれらの取組は、学校・家庭・地域の緊密な連携や地域資源の活用を基盤に、互いが有機的に結びつきながら展開されており、能代市が掲げる教育行政の理念の実現に向けて、堅実な歩みが重ねられた一年であったと評価できます。

学校教育の分野では、学力向上やICT活用、教職員研修の充実に加え、安全・安心な学習環境の整備が進められました。また、地域学校協働活動やボランティア活動を通じて、子どもたちが学校内にとどまらず、地域社会との関わりの中で学ぶ機会も広がっています。子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら教育を支える体制が維持されていることは、大きな成果であったと感じます。

一方、生涯学習および文化振興の分野では、単に学習機会を提供するだけではなく、その成果を地域づくりや文化の継承へとつなげようとする姿勢が随所に見られました。図書館や公民館を拠点とした活動に加え、民俗芸能の継承、文化財資料の保存・活用、デジタル技術を用いた情報発信などは、人口減少や担い手不足が進む現代において、地域の文化的基盤を将来へ引き継ぐための重要な取組として高く評価できます。

また、スポーツ振興の分野では、子どもの体力向上および市民のスポーツ参加の促進に加え、「バスケの街づくり」を核とした地域活性化が着実に進められました。スポーツを健康づくりの手段としてのみならず、人々の交流や地域の魅力発信につなげている点は能代市の特色であり、今後のまちづくりにおいても大きな可能性を有しているものと思われます。

その一方で、いくつかの事業では参加者数や実施回数が目標に達しないものも見受けられました。しかし、これらは必ずしも事業効果の低下を意味するものではなく、人口減少や生活様式の変化、市民ニーズの多様化といった社会的背景を踏まえて捉える必要があります。実際に、参加者数・満足度の向上が見られる事業も多く、今後は従来の量的指標に加え、事業が生み出す学びや交流の「質」にも着目しながら、評価と改善を重ねていくことが期待されます。

総じて、本年度の取組からは、子どもから高齢者に至る多様な学びと活動を支える環境整備、そしてそれを通じた地域社会の持続的な発展を目指す姿勢が明確に読み取れました。教育、文化、スポーツの各分野に携わる関係者のご尽力に敬意を表するとともに、これまで培われてきた成果を生かしながら、市民が生涯にわたって学び、つながり、活躍できるまちづくりが今後さらに進展していくことを期待します。

佐藤 俊之 氏

「学び合う 感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」の基本理念の下、5つの基本目標を相互に関連させながら取り組んでいることが伝わってきました。具体的な26の事業・取組等のうち、25が目標以上の評価となっており、着実に、そして丁寧に進められてきていると理解できます。その中でも、最優先すべき目標と位置づけている「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」について、具体的な調査やアンケート結果を用いて考察してみたいと思います。

まず、小4～中2を対象とした県学習状況調査についてです。教科に関する調査から、小・中学生の学力の高さが明らかになっています。国・社・算数数学・理科・英語のうち、ほとんどが県平均を上回っています（下回っているのは中1数と中2理の2つだけ）。学校での授業はもちろんですが、特に義務教育段階においては家庭の教育への関心や環境が欠かせません。行政からはICT、AIドリルなどの学習環境の整備や教員への研修が行われるなど、学校・家庭・行政の一体感が窺えます。また、同じく「地域のためになる活動に進んで取り組んでみたいか」というアンケート結果です。小5の90.4%をはじめ、どの学年でも県平均を上回る高い数値となっています。これは、学校で実施するふるさと教育・キャリア教育、地域での民俗芸能・民俗行事の継承活動、様々な団体等によるボランティア活動などが相互に関連して、子どもの地域貢献の心を育てているのです。もちろん、これらの活動のすべてに行政の支援があることを忘れてはなりません。そして、「学校が楽しいか」というアンケートにおける肯定的回答の割合は、すべての学年で県平均を上回り90パーセント以上です。これは、いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題に適切かつ誠意をもって対応していることはもちろん、心の教室相談員や特別教育支援員の配置、教育支援センター「はまなす」の活動をはじめ、幼児通級教室「ステップ」・特別支援教室「ステップアップ」などの小1プロブレム等に対応した取組が成果を出しているのだと思います。

次に、子ども館や図書館、公民館等（各種講座を含む）の利用者満足度です。子ども館の講座受講者の満足度は95.8%、家庭教育支援事業の講座受講者満足度は98.7%、図書館利用者の満足度は5点満点中4.4となっているなど、いずれも高い満足度です。参加・利用した人たちは、家庭や職場、地域、学校等で話題にするに違いありません。そして、このことはリピーターの増加につながるでしょう。

スポーツ関係では、新体力テスト合計点平均が、小1～中3の男女すべてで県平均を上回っています。学校での体育の授業・部活動、地域のスポーツクラブの活動、スポーツイベントの開催等、複数の営みが好結果を出しています。そして、これらの活動は、すべて家庭・地域・行政の支援と応援があつてのものです。青・壮年期、高齢者がスポーツに参加する機会と環境整備もしっかりなされています。子どもから高齢者までの幅広い世代がスポーツに親しみ、楽しむことの相乗効果です。

いくつかの調査・アンケートの結果から考察してみましたが、「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」は間違いなく前進していると考えています。もちろん課題への対応や事業・取組の修正を必要とするともありますが、今後とも「学び合う 感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」を目指して、ご尽力くださるようお願いいたします。

2 施策体系と評価一覧

基本目標		
施策の方向性		
事業・取組	7年度評価	
1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進		
① 学校・家庭・地域の連携促進		
青少年健全育成事業	A	目標を上回る
放課後子ども教室推進事業	B	ほぼ目標どおり
子ども館活動事業	A	目標を上回る
② 親子で学び合う機会の提供		
公民館活動事業	B	ほぼ目標どおり
③ 家庭教育の支援		
家庭教育支援事業	A	目標を上回る
④ 読書活動の推進		
読書活動推進事業	B	ほぼ目標どおり
⑤ 食育の推進		
1 学校給食事業	B	ほぼ目標どおり
2 食について理解を深める体験活動事業		
2 豊かな人間性を育む学校教育の推進		
① 主体的で創意ある教育活動の推進		
1 ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進	B	ほぼ目標どおり
2 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）活動の充実		
② 心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進		
自己実現を支える生徒指導	B	ほぼ目標どおり
③ 基礎学力の向上を図る学習指導		
1 基本的な学習習慣の確立	B	ほぼ目標どおり
2 子どもが主体的に取り組める学習指導		
3 ねらいに即したICTの効果的な活用		
4 AIドリルを活用した学びの個別最適化		
④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修		
1 学力向上のための研修	A	目標を上回る
2 安全・安心な学校づくりのための研修		
3 学びをより豊かにするための研修		
⑤ 安全・安心な学校教育の充実と環境の整備		
学校安全の推進	B	ほぼ目標どおり
就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進	B	ほぼ目標どおり
学校施設の老朽化対策等の推進	B	ほぼ目標どおり
3 より心豊かで生き活きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進		
① 生涯にわたる多様な学びの機会の提供		
生涯学習推進事業	C	目標をやや下回る
図書館管理運営事業	A	目標を上回る

② 学びと活動をつなげる環境づくり	公民館活動事業、勤労青少年ホーム活動事業、働く婦人の家活動事業、市民文化振興事業	A 目標を上回る
	③ 若者の主体的な活動や地域活動への参画促進	
	勤労青少年ホーム活動事業、公民館活動事業	A 目標を上回る
4 ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興		
① 子どもの文化体験活動支援	市民文化振興事業、文化会館主催事業	B ほぼ目標どおり
	② 地域固有の文化芸術の継承	
	民俗芸能振興事業	A 目標を上回る
③ 文化財等の調査・保存・活用の推進	文化財保護事業／能代文化財資料収蔵庫管理費	B ほぼ目標どおり
	檜山安東氏城館跡保存管理事業	B ほぼ目標どおり
5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進		
① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	1 子どもの体力向上の推進	A 目標を上回る
	2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進	
② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充	B ほぼ目標どおり
	2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備	
	3 健康づくり運動の推進	
③ スポーツを活用した地域の活性化	1 スポーツを活用した地域づくり	A 目標を上回る
	2 スポーツによる交流人口の拡大	
	3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進	
④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	1 地域のスポーツ指導者等の充実	B ほぼ目標どおり
	2 スポーツ施設の充実	
	3 スポーツに関する表彰制度の整備	

7年度評価	事業・取組数
A 目標を上回る	10
B ほぼ目標どおり	15
C 目標をやや下回る	1
D 目標を大幅に下回る	0

【事務点検・評価シートにおける「子ども」「こども」「子供」表記について】

原則として「子ども」表記としていますが、事業名等の固有名称、こども家庭庁の「こども」表記の推奨による個別の事情のため、一部「こども」「子供」の表記を使用しています。

基本目標

1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進

学校・家庭・地域・行政が協働で、地域の特性や人材を活かした学習機会の充実を図り、子どもの社会性を育みます。また、子どもと大人がともに学び合う機会をつくりまします。

【施策の方向性】

① 学校・家庭・地域の連携促進

学校、家庭、地域が連携して学習活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの健全な成長を支える取り組みを促進します。

② 親子で学び合う機会の提供

親子で楽しみながら参加できる地域学習や異世代交流の機会を提供し、親子の絆を深めるとともに、子どもの社会性を育みます。

③ 家庭教育の支援

時代の変化や子どもの成長過程に応じた情報提供や相談、様々な学習機会の提供を行い、家庭教育を支援します。

④ 読書活動の推進

思いやりや読解力、想像力を育む読書活動を推進し、気軽に読書に親しむことができる環境を整備します。

⑤ 食育の推進

学校給食や食について理解を深める体験活動事業を通して、子どもの健やかな成長を支援します。

大橋 純一 氏

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担いながら、子どもたちの成長を支える仕組みが着実に機能していることがうかがえます。中学生・高校生のボランティア活動参加率は12.2%と目標値を上回り、放課後子ども教室では自然体験や地域資源を生かした活動が実施されました。また、地域学校協働活動推進員による学習支援や安全確保、学校行事への協力も継続されており、子どもたちが地域の人々との関わりの中で学び、成長する環境が整えられていることは高く評価できます。

能代市の特色を生かした学びの充実も見られました。子ども館では宇宙や科学をテーマとした多彩な事業が実施され、講座受講者の満足度は95.8%に達しています。単に知識を得るだけでなく、実際に体験しながら学ぶ機会が豊富に用意されていることは、子どもたちの探究心や挑戦意欲を育む上で大きな意義を持つものと考えます。地域の特色ある教育資源を活用した学びは、今後も能代市の強みとして発展していくことと思います。

一方で、家庭教育に関わる取組については、今後の工夫の余地も見られます。保護者向け講座は高い満足度を得ているものの、祖父母向け講座への参加申込みはなく、親子を対象とした事業の参加者数も目標値にはわずかに届きませんでした。家庭の在り方や生活様式が多様化する中で、家庭教育を支える対象や方法について改めて検討していくことが求められています。読書活動や食育についても、学校だけで完結するものではなく、家庭との連携が重要であり、家庭教育支援の充実は今後の各施策の基盤となるものと思われます。

全体として、今年度は地域とのつながりを生かした学びの充実と、家庭教育を支える取組の継続が着実に進められた一年であったといえます。人口減少や地域社会の変化が進む中であっても、学校・家庭・地域が協働しながら子どもたちの成長を支える環境づくりをさらに発展させていくことを期待します。

佐藤 俊之 氏

地域の人的・物的資源を活かした充実した事業が展開され、学校・家庭・地域・行政が一体となった、子どもたちを育むまちづくりが実践されていると思いました。

中学生・高校生のボランティア活動への参加率は目標の1.4倍であり、特に「中高生ボランティア育成講座」は昨年度の実施回数、参加者数とともに大きく上回りました。ボランティアへの関心だけでなく実践しようとする意欲の高さが窺えます。子ども館活動事業では、能代の強みであるJAXAとの連携のほか魅力あるイベント・講座が多数実施され、講座受講者の満足度は95%以上という高い数値になっており、充実した子ども館運営がなされています。家庭教育支援事業においても講座受講者の満足度は98.7%と非常に高く、充実した講座内容の成果です。一方、祖父母等を対象とした講座は人気薄だったようで、ニーズに応じたものへの対応が必要かもしれません。

各小学校区での週末体験活動は目標どおりの回数を実施し、その内容は昨年度より充実していました。公民館活動事業では、参加者数が昨年度の1.7倍になり、目標をほぼ達成しました。関係者の努力が表れています。読書における不読率ですが、確かに能代市の子どもの不読率は上がっていますが、県の不読率も上がっています。読書に親しむための取組を粘り強くしていくことが大切ではないかと思います。食育についてですが、朝食を食べる子どもの割合が高く、また、給食の残食量も目標どおりで、充実した活動の成果だと思います。

今後も、引き続き「次代を生きる子どもたちを育むまちづくり」をお願いします。

事業・取組	青少年健全育成事業						1-①															
方針・目標	学校、家庭、地域が連携して学習活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの健全な成長を支える取り組みを促進します。																					
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9															
	中学生・高校生におけるボランティア活動参加率 (実績値) = ((延べ参加者数) / (中学生・高校生相当数)) × 100 [目標設定基準: R4 実績値]	目標	8.6%以上																			
		実績	8.3%	10.6%	12.2%																	
実績及び成果	1 中学生・高校生におけるボランティア活動への参加状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ボランティア活動の名称</th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年健全育成活動者の「非行防止キャンペーン」「みんなでAction! New Sportsで遊ぼう!」</td><td>3回</td><td>56人</td></tr> <tr> <td>きみまちの里フェスティバル</td><td>1回</td><td>77人</td></tr> <tr> <td>中高生ボランティア育成講座</td><td>13回</td><td>137人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>17回</td><td>270人</td></tr> </tbody> </table> 2 青少年健全育成活動者に対する支援 ・「非行防止キャンペーン」「みんなでAction! New Sportsで遊ぼう!」等への支援（青少年育成能代市民会議等） ・街頭パトロールへの支援（能代地区少年保護育成委員会等）							ボランティア活動の名称	回数	参加者数	青少年健全育成活動者の「非行防止キャンペーン」「みんなでAction! New Sportsで遊ぼう!」	3回	56人	きみまちの里フェスティバル	1回	77人	中高生ボランティア育成講座	13回	137人	合 計	17回	270人
ボランティア活動の名称	回数	参加者数																				
青少年健全育成活動者の「非行防止キャンペーン」「みんなでAction! New Sportsで遊ぼう!」	3回	56人																				
きみまちの里フェスティバル	1回	77人																				
中高生ボランティア育成講座	13回	137人																				
合 計	17回	270人																				
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																			
	[説明] ・中学生・高校生におけるボランティア活動への参加率は12.2%で、目標値8.6%との差は+3.6ポイントであった。 ・「地域の人と触れ合う喜びを感じた。」「私たちの活動で能代がよりよい町になればいいなと思った。」「将来教師になりたいのでいい経験になった。」等の声が寄せられるなど、参加者の感想は概ね好評であった。 【中学生・高校生におけるボランティア活動への参加率（7年度）】 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>ボランティア活動参加者数</td><td>270人</td></tr> <tr> <td>中学生・高校生相当数（年度末時点）</td><td>2,221人</td></tr> <tr> <td>参加率</td><td>12.2%</td></tr> </tbody> </table>							ボランティア活動参加者数	270人	中学生・高校生相当数（年度末時点）	2,221人	参加率	12.2%									
ボランティア活動参加者数	270人																					
中学生・高校生相当数（年度末時点）	2,221人																					
参加率	12.2%																					
課題及び今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] 今後も引き続き、中学生・高校生が地域のボランティア活動に関心を持ち、自主的にボランティア活動に参加する機運づくりに努める。																					

事業・取組	放課後子ども教室推進事業							1-①	
方針・目標	学校、家庭、地域が連携して学習活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの健全な成長を支える取り組みを促進します。								
目標指標	指標				R5	R6	R7	R8	R9
	各小学校区での週末体験活動の実施回数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:7校区×5回]			目標	35回以上				
				実績	30回	35回	35回		
実績及び成果	1 放課後子ども教室の実施状況								
	区分	6年度				7年度			
		実施校区数	実施日数	参加者数	平均	実施校区数	実施日数	参加者数	平均
	図書室等開放	7校区	1,392日	24,754人	2.5人	7校区	1,383日	26,258人	2.7人
	体育館開放	3校区	68日	767人	3.7人	3校区	75日	525人	2.3人
	プール開放	7校区	91日	6,645人	10.4人	7校区	65日	4,380人	9.6人
	週末体験活動	7校区	35日	322人	1.3人	7校区	35日	239人	0.9人
	平日体験活動	2校区	4日	62人	7.7人	3校区	5日	51人	3.4人
	合計		1,590日	32,550人			1,563日	31,453人	
	(週末体験活動の主な内容)								
	・お菓子づくり体験、ブルーベリー収穫体験、木工体験、カヌー体験 田んぼの見学・お米の収穫体験、パステルアート体験等								
	2 地域学校協働活動の実施状況								
	地域学校協働活動推進員を14名委嘱(全小・中学校区に各1名を配置、ただし四小は2名を配置) (活動の主な内容)								
・学習支援(授業補助、職場体験、新入生の給食補助等)									
・安全確保(登下校指導、学区内パトロール等)									
・学校祭等の支援(学校祭、学校七夕、地域の伝統芸能等)									
点検・評価	評価	B		A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る					
	[説明] ・各小学校区での週末体験活動の実施回数は、大雨による川の増水や熊の出没などで中止とした回もあったが、代替を実施し全小学校区で5回、合計35回で、目標値35回との差は±0であった。 ・令和7年度も引き続き7小学校区を3つのグループへ分け実施した。児童や保護者からは、「初めての体験ができて楽しかった。」「子どもの夢中になっている姿や、根気よく挑戦する姿を見られて嬉しかった。」といった声が寄せられるなど、受講者の感想は概ね好評である。								

課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
	[具体的な課題及び取組] 様々なネットワーク等を生かしながら、安全管理員等の確保及び体験活動内容等の充実を図るとともに、子どもの安全・安心な居場所づくりに努める。

事業・取組	子ども館活動事業						1-①	
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指します。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	講座受講者の満足度 (実績値)=(受講者アンケートの肯定的回答の割合)	目標	90%以上					
		実績	94.7%	95.5%	95.8%			
実績及び成果	1 来館者の推移							
	区分	6年度		7年度				
	総来館者数	43,247人		37,704人				
	事業活動参加者数	1,150件、11,722人		269件、11,600人				
	プラネタリウム観覧者数	6,119人		7,187人				
	うち団体観覧者数	54件、1,511人		67件、1,738人				
	※事業活動参加者数の件数について、令和7年度よりクイズラリー・ウォークラリーを受付ごとの件数から、月に1件以上あれば1件と数え方を変更							
	2 イベント・講座等実績							
	(1) 主なイベント・講座							
	・星空のプラネタリウム♪（熟睡プラ寝たリウム含む）	3件、	175人					
	・学習プラネタリウム	6件、	190人					
	・ペットボトルロケット教室	6件、	70人					
	・モデルロケット教室（うち1件高校生以上対象）	7件、	63人					
	・スペースラボ	2件、	8人					
	・コズミックカレッジ	4件、	49人					
・自然観察会・自然学習会	3件、	35人						
・風の松原チャレンジ！	1件、	7人						
・かがくあそび	14件、	235人						
・ロボット・プログラミング講座	32件、	191人						
・星空観察会	6件、	145人						
・『N. らぼ』の科学実験	2件、	53人						
・わくわくミニ工作	5件、	89人						
(2) 特別イベント								
・「はやぶさの日」イベント								
サンプルリターン～ブーメランを作ってあそぼう！	3件、	25人						
プラネタリウム無料投映	5回、	63人						
・のしろ銀河フェスティバル 2025								
「ペンシルロケット実機を4機」特別展示	11日間、	4,677人						
特別講演会「ペンシルロケットと秋田ロケット実験場」	2件、	49人						
作って飛ばそう！紙筒ロケット	4件、	42人						
ギャラリートーク「祝70周年ペンシルロケット」	2件、	30人						
ペットボトルロケット工作教室	2件、	23人						
ペットボトルロケット打ち上げ大会	2件、	21人						
プラネタリウム無料投映	10回、	558人						

	・パブリックビューイング H3 ロケット8号機打上げ 2人 カイロスロケット3号機打上げ（延期2回あり） 15人 （3）展示室を活用した宇宙科学への関心を高める工夫 ・スペシャルミッション！ <table border="1"> <tr> <td></td><td>幼児～小学3年生</td><td>小学4年生～一般</td></tr> <tr> <td>参加者数</td><td>309人</td><td>126人</td></tr> <tr> <td>正解者数</td><td>309人</td><td>119人</td></tr> </table> ・子ども館ウォークラリー 12件、170人 ・子ども館クイズラリー 12件、1,060人 ・子ども館宇宙検定 <table border="1"> <tr> <td></td><td>初級編</td><td>中級編</td><td>上級編</td></tr> <tr> <td>参加者数</td><td>9人</td><td>0人</td><td>0人</td></tr> <tr> <td>合格者数</td><td>9人</td><td>0人</td><td>0人</td></tr> </table> ※宇宙検定は参加者減少により、8月を持って休止とした。 ・宇宙ラボガイド 48件、549人		幼児～小学3年生	小学4年生～一般	参加者数	309人	126人	正解者数	309人	119人		初級編	中級編	上級編	参加者数	9人	0人	0人	合格者数	9人	0人	0人						
	幼児～小学3年生	小学4年生～一般																										
参加者数	309人	126人																										
正解者数	309人	119人																										
	初級編	中級編	上級編																									
参加者数	9人	0人	0人																									
合格者数	9人	0人	0人																									
点検・評価	<table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>A</td><td>A 目標を上回る B ほぼ目標どおり</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る</td></tr> </table> 〔説明〕 ・講座受講者アンケートの肯定的回答の割合は95.8%で、目標値90%との差は+5.8ポイントであった。 ・「やや不満足」「不満足」の回答数と割合については、令和6年度アンケートと比較し、やや減少となった。 【講座受講者アンケート結果（7年度）】 ※（ ）は6年度数値 <table border="1"> <tr> <td>項目</td><td>満足</td><td>やや満足</td><td>ふつう</td><td>やや不満足</td><td>不満足</td><td>計</td></tr> <tr> <td>人数(人)</td><td>553 (556)</td><td>62 (58)</td><td>23 (23)</td><td>2 (4)</td><td>2 (2)</td><td>642 (643)</td></tr> <tr> <td>割合(%)</td><td>86.1 (86.5)</td><td>9.7 (9.0)</td><td>3.6 (3.6)</td><td>0.3 (0.6)</td><td>0.3 (0.3)</td><td></td></tr> </table>	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり			C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る	項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足	計	人数(人)	553 (556)	62 (58)	23 (23)	2 (4)	2 (2)	642 (643)	割合(%)	86.1 (86.5)	9.7 (9.0)	3.6 (3.6)	0.3 (0.6)	0.3 (0.3)	
評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり																										
		C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																										
項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足	計																						
人数(人)	553 (556)	62 (58)	23 (23)	2 (4)	2 (2)	642 (643)																						
割合(%)	86.1 (86.5)	9.7 (9.0)	3.6 (3.6)	0.3 (0.6)	0.3 (0.3)																							
課題及び今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） 〔具体的な課題及び取組〕 ①展示室「ノビシロ宇宙ラボ」の活用 リニューアルした1階の体験型展示、JAXA宇宙科学研究所の全面協力による2階の衛星模型等を活用し、市が掲げる「宇宙のまち」を感じることができる身近な施設として、子どもから大人まで楽しみながら宇宙や科学について学べる機会を提供する。 ②宇宙教育の充実 ・モデルロケット教室やペットボトルロケット教室の開催 ・JAXAや日本宇宙少年団ノシロ分団等の関連機関・団体との連携 ・能代市や秋田県にも関係のあるロケット打上げ等の情報発信 ③子ども館事業の充実 事業内容PRによるリピーターや新規利用者の獲得を目指し、驚きや感動を引き出す科学実験講座、地域の自然環境に理解を深める体験活動等、内容の充実を図る。																											

	④デジタルプラネタリウムの利用拡大 プラネタリウム番組の投映のほか、熟睡プラ寝たリウム等の大人でも気軽に星空を楽しめる事業を実施し、利用者層の拡大を図る。 ⑤小・中学校、高校との連携強化 ・学習プラネタリウム（プラネタリウムを用いた天体関連の授業）の実施 ・施設見学、職場体験（中学生）、インターンシップ（高校生）等の受け入れ
--	---

事業・取組	公民館活動事業					1-②																																					
方針・目標	親子で楽しみながら参加できる地域学習の機会を提供し、親子の絆を深めるとともに、子どもの社会性を育みます。																																										
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																				
	中央公民館開催事業の参加者数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	367人以上																																								
		実績	380人	210人	365人																																						
実績及び成果	1 中央公民館開催事業内訳 (数値は延べ数) <table border="1"> <tr> <th>分野</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">家庭教育</td> <td rowspan="6">親子わくわく教室</td> <td>こいのぼりのいなり寿司を作ろう!</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>ふれあいリトミック講座</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>ぼくもわたしも陶芸家(2回)</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しむストリングスアート講座</td> <td>(中止) 0人</td> </tr> <tr> <td>クリスマスアイシングクッキー</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>親子で作ろう!クレイクラフト講座</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">親子でTOMO育講座</td> <td>親子でシーグラスアートに挑戦しよう!</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>親子でオカリナ絵付け&演奏体験</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">出張ファミリー講座</td> <td>親子でニュースポーツを体験しよう! (向能代小2年生)</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>親子でふれあいヨガ (まつばら保育園)</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>親子でサイエンスショー (二ツ井小学校)</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>親子でふれあいリトミック (すぎ保育園1・2歳児)</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3事業</td> <td>13回</td> <td>365人</td> </tr> </table>							分野	事業名	内容	参加者数	家庭教育	親子わくわく教室	こいのぼりのいなり寿司を作ろう!	15人	ふれあいリトミック講座	13人	ぼくもわたしも陶芸家(2回)	50人	親子で楽しむストリングスアート講座	(中止) 0人	クリスマスアイシングクッキー	22人	親子で作ろう!クレイクラフト講座	13人	親子でTOMO育講座	親子でシーグラスアートに挑戦しよう!	23人	親子でオカリナ絵付け&演奏体験	22人	出張ファミリー講座	親子でニュースポーツを体験しよう! (向能代小2年生)	71人	親子でふれあいヨガ (まつばら保育園)	19人	親子でサイエンスショー (二ツ井小学校)	54人	親子でふれあいリトミック (すぎ保育園1・2歳児)	63人	計	3事業	13回	365人
分野	事業名	内容	参加者数																																								
家庭教育	親子わくわく教室	こいのぼりのいなり寿司を作ろう!	15人																																								
		ふれあいリトミック講座	13人																																								
		ぼくもわたしも陶芸家(2回)	50人																																								
		親子で楽しむストリングスアート講座	(中止) 0人																																								
		クリスマスアイシングクッキー	22人																																								
		親子で作ろう!クレイクラフト講座	13人																																								
	親子でTOMO育講座	親子でシーグラスアートに挑戦しよう!	23人																																								
		親子でオカリナ絵付け&演奏体験	22人																																								
	出張ファミリー講座	親子でニュースポーツを体験しよう! (向能代小2年生)	71人																																								
		親子でふれあいヨガ (まつばら保育園)	19人																																								
親子でサイエンスショー (二ツ井小学校)		54人																																									
親子でふれあいリトミック (すぎ保育園1・2歳児)		63人																																									
計	3事業	13回	365人																																								
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																								
	[説明] ・中央公民館開催事業の参加者数は365人で、目標値367人との差は△2人であった。 ・中央公民館指定管理者と締結している基本協定書において、児童及び保護者を対象に、子どもと大人がともに学び合う機会を提供するために年2事業以上行うこととしており、これを上回る3事業の実施であった。																																										
課題及び今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 () [具体的な課題及び取組] 引き続き指定管理者と情報交換を密にして、親子で楽しみながら参加できる地域学習の機会の提供に努める。																																										

事業・取組	家庭教育支援事業						1－③																														
方針・目標	時代の変化や子どもの成長過程に応じた情報提供や相談、様々な学習機会の提供を行い、家庭教育を支援します。																																				
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																														
	講座受講者の満足度 (実績値)=(受講者アンケートの肯定的回答の割合)	目標	90%以上																																		
		実績	95.0%	92.5%	98.7%																																
実績及び成果	1 保護者を対象とした家庭教育講座 「家庭教育の必要性とその大切さについて」「小学校入学が近づいた子どもとの関わり方について」「性教育及び命の大切さに関すること」等 27 回開催（受講者 657 人）																																				
	2 祖父母等を対象とした「集まれ！おじいちゃん、おばあちゃん（孫かて）講座」 2 回開催予定であったが、申し込みがなく未開催となった。																																				
	3 次代の親を対象とした家庭教育（育児体験） 5 回開催（参加者 25 人）																																				
	4 家庭教育通信「Only one」の発行 5 回発行																																				
	(参 考)																																				
	<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">6 年度</th><th colspan="2">7 年度</th></tr><tr><th>開催数</th><th>受講者数</th><th>開催数</th><th>受講者数</th></tr><tr><td>家庭教育講座</td><td>25 回</td><td>693 人</td><td>27 回</td><td>657 人</td></tr><tr><td>孫かて講座</td><td>2 回</td><td>21 人</td><td>2 回</td><td>0 人</td></tr><tr><td>育児体験</td><td>3 回</td><td>22 人</td><td>5 回</td><td>25 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>30 回</td><td>736 人</td><td>34 回</td><td>682 人</td></tr></table>								区 分	6 年度		7 年度		開催数	受講者数	開催数	受講者数	家庭教育講座	25 回	693 人	27 回	657 人	孫かて講座	2 回	21 人	2 回	0 人	育児体験	3 回	22 人	5 回	25 人	合 計	30 回	736 人	34 回	682 人
	区 分	6 年度		7 年度																																	
		開催数	受講者数	開催数	受講者数																																
	家庭教育講座	25 回	693 人	27 回	657 人																																
	孫かて講座	2 回	21 人	2 回	0 人																																
育児体験	3 回	22 人	5 回	25 人																																	
合 計	30 回	736 人	34 回	682 人																																	
点 検 ・ 評 価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																		
	[説明] ・講座受講者アンケートの肯定的回答の割合は 98.7%で、目標値 90%との差は＋8.7 ポイントであった。 ・「育児を見直す機会となり良かった。」「普段の子育てに不安を感じることもあり、質問できて良かった。」等の声が寄せられるなど、受講者の感想は概ね好評であった。																																				
課 題 及 び 今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ）																																				
	[具体的な課題及び取組] 講座の内容等を工夫しながら、今後も引き続き、保護者が子どもに対して行う教育（家庭教育）の支援に努める。また、孫かて講座の内容等を見直し、祖父母にも家庭教育に関わってもらえるよう、支援に努める。																																				

事業・取組	読書活動推進事業						1-④																																																						
方針・目標	思いやりや読解力、想像力を育む読書活動を推進し、気軽に読書に親しむことができる環境を整備します。																																																												
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																																						
	不読率（1 か月に 1 冊も本を読まない児童・生徒の割合）県平均との差 (実績値)=(各学年((県平均)-(市割合))の計)/(学年数)	目標	0 ポイント未満																																																										
		実績	△2.7 p	△7.7 p	△2.2 p																																																								
実績及び成果	(主な取組内容（第3次能代市こども読書活動推進計画に基づいた取組）) 1 様々な方のおすすめ本を広報のしるで紹介 「読んでみて！わたしの推し本」（12 回掲載） 2 秋田杉製ブックスタンドキットを作製し、小学4年生へ配付 3 オリジナルしおりを市内中学1年生及び高校1年生へ配付 4 読書活動推進講座 「縄文を体験しよう」																																																												
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																										
	[説明] ・不読率県平均との差は△2.2 ポイントで、目標値 0 ポイントとの差は△2.2 ポイントであった。 【不読率（県学習状況調査）】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">6 年度</th><th rowspan="2">比較</th><th colspan="2">7 年度</th><th rowspan="2">比較</th></tr> <tr> <th>能代市</th><th>県平均</th><th>能代市</th><th>県平均</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td><td>2.5%</td><td>7.6%</td><td>△5.1 p</td><td>3.9%</td><td>7.3%</td><td>△3.4 p</td></tr> <tr> <td>小学5年</td><td>2.8%</td><td>9.4%</td><td>△6.6 p</td><td>6.1%</td><td>10.4%</td><td>△4.3 p</td></tr> <tr> <td>小学6年</td><td>1.8%</td><td>10.2%</td><td>△8.4 p</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>中学1年</td><td>4.6%</td><td>12.6%</td><td>△8.0 p</td><td>13.2%</td><td>15.5%</td><td>△2.3 p</td></tr> <tr> <td>中学2年</td><td>4.1%</td><td>14.7%</td><td>△10.6 p</td><td>20.0%</td><td>18.8%</td><td>1.2 p</td></tr> <tr> <td>平 均</td><td>—</td><td>—</td><td>△7.7 p</td><td>—</td><td>—</td><td>△2.2 p</td></tr> </tbody> </table> ※令和7年度から小学6年生は調査の対象外となった。								区 分	6 年度		比較	7 年度		比較	能代市	県平均	能代市	県平均	小学4年	2.5%	7.6%	△5.1 p	3.9%	7.3%	△3.4 p	小学5年	2.8%	9.4%	△6.6 p	6.1%	10.4%	△4.3 p	小学6年	1.8%	10.2%	△8.4 p	—	—	—	中学1年	4.6%	12.6%	△8.0 p	13.2%	15.5%	△2.3 p	中学2年	4.1%	14.7%	△10.6 p	20.0%	18.8%	1.2 p	平 均	—	—	△7.7 p	—	—	△2.2 p
区 分	6 年度		比較	7 年度		比較																																																							
	能代市	県平均		能代市	県平均																																																								
小学4年	2.5%	7.6%	△5.1 p	3.9%	7.3%	△3.4 p																																																							
小学5年	2.8%	9.4%	△6.6 p	6.1%	10.4%	△4.3 p																																																							
小学6年	1.8%	10.2%	△8.4 p	—	—	—																																																							
中学1年	4.6%	12.6%	△8.0 p	13.2%	15.5%	△2.3 p																																																							
中学2年	4.1%	14.7%	△10.6 p	20.0%	18.8%	1.2 p																																																							
平 均	—	—	△7.7 p	—	—	△2.2 p																																																							
課題及び今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・「第3次能代市こども読書推進活動計画」に沿って各種施策に取り組む。 ・今後も引き続き、学校・家庭・地域との連携を図りながら読書活動の推進に努める。																																																												

事業・取組	1 学校給食事業 2 食について理解を深める体験活動事業						1－⑤	
方針・目標	1 健康的で豊かな食生活を実践し、食育推進に取り組みます。 2 食の安全・安心に関する知識の提供に努めます。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	朝食を毎日食べる児童生徒の割合 (実績値)=(全国学力・学習状況調査結果)	目標	95%以上					
		実績	95.0%	92.7%	95.2%			
	※R7 より給食事業に関する目標を追加 児童生徒一人当たりの年間残食量 (実績値)=(年間総残食量)／(児童生徒数) [目標設定基準：R5-6 平均値]	目標				12.0kg 以下		
		実績	12.2 kg	11.9 kg	12.3kg			
実績及び成果	1 学校給食事業 ・給食だより（予定献立表）や食育だよりを発行し、家庭へ食育や給食についての情報を提供。朝ごはんの効果等をアピールし、「早寝・早起き、朝ご飯」を推進した。 （各調理場月 1 回） ・栄養教諭が給食時間に訪問し、食事に関する情報提供を行った。 （南部毎日、北部 12 回、二ツ井 12 回） ・栄養教諭による、食事と健康に関する食育授業を行った。 （南部 33 回、北部 10 回、二ツ井 10 回） ・中学生へスポーツ栄養、成長期の栄養についての指導と講話を行った。 （南部共同調理場・北部共同調理場） ・食育の日（毎月 19 日）に地場産物の活用や、季節に応じたテーマを決め、献立や減塩の献立等を提供した。 （各調理場月 1 回） ・地域の食材をふんだんに使い、能代らしさがつまった「天空の能代まんぷく給食」（3 調理場栄養士考案市内小中学校統一メニュー R3～）を提供。当日は、給食一口メモや家庭へのお便りを配付し、地域の食材への理解を深めた。また、南部共同調理場では、動画を作成し、授業等で活用した。 ・給食写真や給食に関する話題、地域の食材、調理の様子の動画などを第四小学校のブログで紹介。栄養教諭が毎日更新している。（南部共同調理場） ・中学校 3 年生を対象に、もう一度食べたい給食のアンケートをとり、卒業間近に「リクエスト給食」を提供し、好評であった。（北部共同調理場） ・家庭科で 6 年生が考案した学校給食献立を、献立表で紹介するとともに実際に給食で提供した。 （南部共同調理場、北部共同調理場、二ツ井共同調理場）							

	・学校給食における主な品目の県内産の使用割合【学校給食物資使用調査】 <table border="1" data-bbox="461 197 1342 497"> <tr> <th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">5 年度</th><th colspan="2">6 年度</th></tr> <tr> <th>市</th><th>県平均</th><th>市</th><th>県平均</th></tr> <tr> <td>野菜</td><td>30.8%</td><td>21.4%</td><td>38.4%</td><td>23.8%</td></tr> <tr> <td>肉類</td><td>58.0%</td><td>57.7%</td><td>59.4%</td><td>56.5%</td></tr> <tr> <td>魚類</td><td>0.0%</td><td>6.0%</td><td>0.0%</td><td>7.9%</td></tr> <tr> <td>大豆製品</td><td>89.7%</td><td>81.5%</td><td>88.4%</td><td>81.3%</td></tr> <tr> <td>穀類・乳類</td><td>100.0%</td><td>72.1%</td><td>100.0%</td><td>99.9%</td></tr> </table> 2 食について理解を深める体験活動事業 ・給食保護者試食会やPTAにおいて、食育に関する講話、資料提供を行った。 (南部共同調理場) ・給食保護者試食会において、学校給食に関する講話、資料提供を行った。 (二ツ井共同調理場) ・放課後子ども教室において食に関する講座を開催した。(6回、延べ123人) ・中央公民館、二ツ井公民館、各地区公民館などにおいて、食に関する講座を開催した。(10回、延べ140人)				区分	5 年度		6 年度		市	県平均	市	県平均	野菜	30.8%	21.4%	38.4%	23.8%	肉類	58.0%	57.7%	59.4%	56.5%	魚類	0.0%	6.0%	0.0%	7.9%	大豆製品	89.7%	81.5%	88.4%	81.3%	穀類・乳類	100.0%	72.1%	100.0%	99.9%
区分	5 年度		6 年度																																			
	市	県平均	市	県平均																																		
野菜	30.8%	21.4%	38.4%	23.8%																																		
肉類	58.0%	57.7%	59.4%	56.5%																																		
魚類	0.0%	6.0%	0.0%	7.9%																																		
大豆製品	89.7%	81.5%	88.4%	81.3%																																		
穀類・乳類	100.0%	72.1%	100.0%	99.9%																																		
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																			
	[説明] ・朝食を毎日食べる児童生徒の割合は95.2%で、目標値95%との差は+0.2ポイントであった。なお、令和7年度の全国学力・学習状況調査「朝食を毎日食べる児童生徒の割合」での県平均は94.6%であった。 【朝食を毎日食べる児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査）】 <table border="1" data-bbox="432 1240 1007 1368"> <tr> <th></th><th>6 年度</th><th>7 年度</th></tr> <tr> <td>市</td><td>92.7%</td><td>95.2%</td></tr> <tr> <td>県平均</td><td>94.4%</td><td>94.6%</td></tr> </table> ・7年度より給食事業に関する目標として、児童生徒一人当たりの年間残食量を追加設定した。目標値はR5-6 平均値から12.0 kgとした。 ・児童生徒一人当たりの年間残食量は12.3kg で、目標値との差は+0.3 kgであった。 【児童生徒一人当たり残食量（年間）】 <table border="1" data-bbox="432 1659 1007 1832"> <tr> <th></th><th>7 年度</th></tr> <tr> <td>年間総残食量</td><td>28,929 kg</td></tr> <tr> <td>児童生徒数</td><td>2,357 人</td></tr> <tr> <td>一人当たり年間残食量</td><td>12.3 kg</td></tr> </table>					6 年度	7 年度	市	92.7%	95.2%	県平均	94.4%	94.6%		7 年度	年間総残食量	28,929 kg	児童生徒数	2,357 人	一人当たり年間残食量	12.3 kg																	
	6 年度	7 年度																																				
市	92.7%	95.2%																																				
県平均	94.4%	94.6%																																				
	7 年度																																					
年間総残食量	28,929 kg																																					
児童生徒数	2,357 人																																					
一人当たり年間残食量	12.3 kg																																					
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] ① 栄養教諭による食育指導 ・栄養教諭による教科等と連携した栄養指導を行う。																																					

	・保護者へのレシピ配付や給食試食会での栄養教諭の講話など、家庭で話題にできる講座の実施を推進していく。 ② 学校給食における地場産農産物の活用 ・地場産野菜等は、安定した量の確保の課題がある。引き続き、産地直売所、市内青果店と情報を共有しながら、積極的に活用するよう努めていく。 ・市内小中学校統一メニュー「天空の能代まんぷく給食」について、さらに周知を広げていきたい。マスコミへの情報提供を積極的に行い、テレビや新聞に取り上げてもらうことにより、家庭や地域へ学校給食の地場産物活用等についてPRしていく。 ③ 学校として取り入れる取組 ・学校だよりで「朝食を毎日食べる子どもの割合」の情報提供などを行うとともに、朝ごはんの大切さを呼び掛ける。
--	---

基本目標

2 豊かな人間性を育む学校教育の推進

積極的に学校と地域が交流・連携し、感謝と思いやりにあふれた豊かな心と健やかな体、そして「自ら学び、考え、行動する力」をもった児童生徒の育成に取り組みます。

【施策の方向性】

① 主体的で創意ある教育活動の推進

児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするため、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。

② 心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進

いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題について、未然防止や早期発見、即時対応等を適切に行うよう努めるとともに、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム(*1)の構築を目指します。また、たくましく生きるための体を育成します。

③ 基礎学力の向上を図る学習指導

児童生徒の基礎学力の確実な定着を図るとともに、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的な深い学びの実現を目指します。

④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修

研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。

⑤ 安全・安心な学校教育の充実と環境の整備

児童生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送るため、学校安全に関する指導を推進するとともに、学校施設の適切な維持管理や必要な支援員の配置、就学援助等の教育環境を整えます。

(*1)「インクルーシブ教育システム」：障害者が精神的及び身体的な能力を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とする目的のもと、障害のある方と障害のない方が共に学ぶ仕組み。

大橋 純一 氏

子どもたちの学力向上と安全・安心な学習環境の整備に向けて、学校教育全体の質の向上が着実に図られていることがうかがえます。県学習状況調査では、県平均を上回る教科の割合が88.2%であったほか、「授業での話し合い活動に進んで取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合も92.1%に達しています。知識の定着だけでなく、他者との対話を通して学びを深めようとする姿勢が育まれていることは評価できる点です。

また、ICT活用やAIドリルの導入を通して、個別最適な学びの実現に向けた取組も進められました。ICT機器の活用頻度は目標値には届かなかったものの、現状では使用回数そのものを追う段階から、学習場面に応じて効果的に活用する段階へと移行しつつあることが読み取れます。AIドリルについても長期休業中の利用率は84%と高く、学習習慣の定着を支えるツールとして一定の役割を果たしているものと考えられます。

安全・安心な学校づくりの面では、いじめや不登校への対応体制の充実に加え、通学路安全点検の対策実施率が92.9%となるなど、学校・家庭・地域・関係機関が連携した取組が継続されています。登下校中の事故件数が減少していることも、こうした地道な取組の成果の一端と考えられます。

さらに、教職員研修の満足度は3.9点と高い水準を維持しており、教員の資質・能力向上を支える取組も継続されています。東京都豊島区との教育連携や各種研修会の実施は、教職員の視野を広げるとともに、学校間の学び合いを促進する機会となっています。加えて、就学援助や奨学金制度の周知・活用、学校施設の計画的な改修など、教育を支える基盤整備も着実に進められました。

全体として、学力向上、安全・安心の確保、教育環境の整備が相互に関連しながら推進されており、子どもたちの学びを支える体制が着実に充実化していることがうかがえます。今後も、変化する教育課題に対応しながら、一人一人の子どもの可能性を伸ばす教育の実現に向けて取組が発展していくことを期待します。

佐藤 俊之 氏

豊かな心と健やかな体、「自ら学び、考え、行動する力」をもった子どもたちを育成するため、学校と地域が同じ目標に向かって交流・連携し、多方面での教育活動が展開されています。

能代っ子ふるさと会議、模擬会社、能代七夕、ロケット関係（JAXAとの連携）など、学校と地域の特色ある文化や事業と関わる教育を実施することで、「能代の伝統文化の継承」「未来への創造」「感謝と思いやりの心」などを育成することができています。その成果は、「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」という子どもが90%以上という数値に表れています。

「学校が楽しい」という回答がどの学年（調査対象：小4～中2）も90%以上であり、この数値は、いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題について未然防止や早期発見、即時対応等が適切になされている結果と考えることができ、高く評価できると思います。

学習面においても、県学習状況調査の結果からほとんどの学年及び教科で県平均を上回っています。そして、調査結果から成果と課題を把握し、各学校への指導や各種研修会の実施、ICTの効果的な実施やAIドリルの活用で学びの個別最適化を促すなど、「教員の授業改善」と「子どもの主体的な学び」への支援をバランス良く行っています。また、学習面以外の教員向け研修も充実しており、幅広い指導力向上に寄与しています。

さらに、学校安全については、学校施設のスピードある点検・改善、計画的な老朽化対策等

のしっかりとした取組がなされています。また、就学援助、奨学金事業など、（周知することを含め）家庭への経済的支援も充実していると感じました。

今後も検証・改善をしながら充実した教育活動をしていただけるよう期待します。

事業・取組	1 ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進 2 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）活動の充実						2-①
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするために、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の肯定的回答の割合 ※対象:小5 (実績値)=(県学習状況調査結果)	目標	90%以上				
		実績	92.8%	91.9%	90.4%		
実績及び成果	1 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 未来を創る能代っ子ふるさと会議では、市内全ての中学校2年生、小学校6年生が参加し、ふるさとをよりよくするための提言がなされた。地域づくりや企業、観光等の観点で議論を深めることができた。 2 特色ある教育計画の立案と実践・評価 学校・家庭・地域が相互に連携した教育活動の在り方を検証するため、年2～3回の学校運営協議会を開催するとともに、「あきた型学校評価システム」による学校関係者評価を実施し、市内13校全ての小・中学校でその結果を校報等で公表した。学校運営協議会委員は各校の行事へ参加、協力するとともに、教育活動等への提言を行い、地域に根ざした継続的な関わりを行っている。 ○ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進 ① ニツ井小学校、ニツ井中学校の取組例 模擬会社「きみまちカンパニー」を設立して5年目となる7年度は、企画事業部、産業事業部、観光事業部の3事業部で活動を進めた。11月1日の「きみまちカンパニーフェスティバル」は、きみまち阪公園とニツ井道の駅の2カ所で開催。道の駅ふたつについては、おむすびやニツ井のお店とのコラボ商品の販売、ニツ井についてのパネル展示等が行われ、きみまち阪公園では観光案内等が行われた。これまでの学びの成果を事業部ごとにアピールした。 ② 能代第一中学校、能代第二中学校の取組例 8月2日、3日、一中若、二中若が天空の不夜城に参加した。両校では、能代七夕の歴史と伝統を学ぶことを目的に、音頭上げや太鼓、笛、田楽等のコースに分かれて活動した。沿道の観客からも、盛んな拍手が送られ、大いに盛り上がった。 ③ 能代南中学校等の取組例 科学技術の進歩や宇宙開発をテーマに学習を進めている。各学年の計画に沿って、JAXAロケット実験場の見学、モデルロケット製作・打ち上げ等を行っている。中学生モデルロケット県大会に向けて、能代南中学校で講習会を行い、大会には市内の中学生17名が参加した。 また、市内各校でサイエンスパーク子ども館を見学したり、プラネタリウム鑑賞をしたりして、宇宙に親しんでいる。						

点 検 ・ 評 価	評価	B A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																		
	[説明] ・「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の肯定的回答の割合（小学5年生）は90.4%で、目標値90%との差は+0.4ポイントであった。 【「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」肯定的回答の割合（県学習状況調査）】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 年</th> <th colspan="2">6 年 度</th> <th rowspan="2">比 較</th> <th colspan="2">7 年 度</th> <th rowspan="2">比 較</th> </tr> <tr> <th>能代市</th> <th>県平均</th> <th>能代市</th> <th>県平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>92.8%</td> <td>90.8%</td> <td>+2.0 p</td> <td>91.3%</td> <td>90.1%</td> <td>+1.2 p</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>91.9%</td> <td>89.4%</td> <td>+2.5 p</td> <td>90.4%</td> <td>87.6%</td> <td>+2.8 p</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>87.7%</td> <td>87.4%</td> <td>+0.3 p</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>91.8%</td> <td>85.4%</td> <td>+6.4 p</td> <td>80.4%</td> <td>85.3%</td> <td>-4.9 p</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>83.9%</td> <td>84.1%</td> <td>-0.2 p</td> <td>85.9%</td> <td>82.5%</td> <td>+3.4 p</td> </tr> </tbody> </table> ※令和7年度より小学6年は調査対象外							学 年	6 年 度		比 較	7 年 度		比 較	能代市	県平均	能代市	県平均	小学4年	92.8%	90.8%	+2.0 p	91.3%	90.1%	+1.2 p	小学5年	91.9%	89.4%	+2.5 p	90.4%	87.6%	+2.8 p	小学6年	87.7%	87.4%	+0.3 p	/	/	/	中学1年	91.8%	85.4%	+6.4 p	80.4%	85.3%	-4.9 p	中学2年	83.9%	84.1%	-0.2 p	85.9%	82.5%
学 年	6 年 度		比 較	7 年 度		比 較																																														
	能代市	県平均		能代市	県平均																																															
小学4年	92.8%	90.8%	+2.0 p	91.3%	90.1%	+1.2 p																																														
小学5年	91.9%	89.4%	+2.5 p	90.4%	87.6%	+2.8 p																																														
小学6年	87.7%	87.4%	+0.3 p	/	/	/																																														
中学1年	91.8%	85.4%	+6.4 p	80.4%	85.3%	-4.9 p																																														
中学2年	83.9%	84.1%	-0.2 p	85.9%	82.5%	+3.4 p																																														
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）																																																			
	[具体的な課題及び取組] 今後も特色ある教育活動が各校で展開されるよう支援していく。																																																			

事業・取組	自己実現を支える生徒指導						2-②	
方針・目標	いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題について、未然防止や早期発見、即時対応等を適切に行うよう努めるとともに、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築を目指します。また、たくましく生きるための体を育成します。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	「学校が楽しい」の肯定的回答の割合と学年目標 90%との差の計 ※対象:小4～中2 (実績値)=[{(県学習状況調査結果)-(学年目標基準)}の計] ※各学年目標基準:90%	目標	0 ポイント以上					
		実績	3.9 p	14.9 p	13.1 p			
	不登校・不登校傾向児童生徒の回復率 (実績値)=(回復した児童生徒数)/(不登校児童生徒数)×100	目標	20%以上					
		実績	19.5%	21.0%	21.3%			
	新体力テスト体力合計点平均が県平均を上回る学年（男女別）の割合 (実績値)={県平均を上回る学年(男女別)の数/[2×9 学年]}×100	目標	50%以上					
		実績	55.5%	77.8%	100.0%			
実績及び成果	1 心の教室相談員の配置 ・小・中学校全ての学校に13名配置 ・1年間に心の教室を訪れた人数（延べ人数） 12,732人、相談件数413件 2 スクールカウンセラーの配置（県委託） ・中学校：6校中6校に4人（兼務あり）配置 ・1年間でスクールカウンセラーを利用した人数（延べ人数） 509人 3 教育支援センター「はまなす広場」の設置（不登校児童生徒への個別指導） ・在籍児童生徒数13人 週に1回～数回の通級等 ・登校に向けて風の子電話との連携を強化 4 「風の子相談」の設置（電話・メールや来所による教育相談） ・年間相談件数 電話6件、来所88件、メール16件（不登校93件、進路10件） 5 不登校保護者会の開催（不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動） ・9回開催、保護者延べ10人参加。生徒の改善（回復傾向）へ関わる。 6 各小・中学校への指導 ・市生徒指導主事会での児童生徒に関する情報交換やいじめ・不登校未然防止の取組の呼び掛け ・Q-Uアンケート（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の実施と分析。小学校5・6年、中学校1・2年で年2回実施。中学校1年はよりきめ細かな分析ができるhyper-QUを実施。 7 関係機関との連携 ・月に1回、教育委員会生徒指導担当、児童生徒支援アドバイザー、子育て支援課家庭教育相談員で情報交換会を開催。児童生徒の抱える課題が、家庭に起因するケースも増えているため、関係機関と連携する解決事案が増えた。							

	8 特別支援教育の充実 ・ 幼保小の架け橋となる幼児通級教室「すてっぷ」（年長児対象）を淳城西小学校、向能代小学校、二ツ井小学校に設置 ・ 小学校低学年の自立を助ける特別支援教室「ステップアップ」を上記3校に設置 ・ 特別支援教育支援員を31人、特別支援教育指導員を10人配置 9 新体力テストの実施と分析を行い、市教委訪問で各校の課題を確認し、助言した。																																																																																																																																					
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																																																																																																			
	[説明]																																																																																																																																					
	・ 「学校が楽しい」の肯定的回答の割合と学年目標90%との差の計は13.1ポイントで、目標値0ポイントとの差は+13.1ポイントであった。県学習状況調査の質問紙において、「学校が楽しい」の項目で、どの学年も目標値を上回った。また、どの学年も県平均を上回った。																																																																																																																																					
	【「学校が楽しい」肯定的回答の割合（県学習状況調査／7年度）】 <table><tr><td>学 年</td><td>能代市</td><td>目標値との比較</td><td>県平均</td><td>県との比較</td></tr><tr><td>小学4年</td><td>91.7%</td><td>+1.7 p</td><td>91.0%</td><td>+0.7 p</td></tr><tr><td>小学5年</td><td>95.2%</td><td>+5.2 p</td><td>91.8%</td><td>+3.4 p</td></tr><tr><td>中学1年</td><td>92.5%</td><td>+2.5 p</td><td>91.3%</td><td>+1.2 p</td></tr><tr><td>中学2年</td><td>93.7%</td><td>+3.7 p</td><td>90.0%</td><td>+3.7 p</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>+13.1 p</td><td></td><td></td></tr></table> ・ 不登校・不登校傾向児童生徒の回復率は21.3%で、目標値20%との差は+1.3ポイントであった。 ・ 新体力テストにおける体力合計点の平均が県平均を上回る学年（男女別）の割合は100.0%で、目標値50%との差は+50.0ポイントであった。 (18÷(9学年×2))×100=100.0% 【体力合計点平均（新体力テスト／7年度）】 <table><tr><td></td><td colspan="2">小1</td><td colspan="2">小2</td><td colspan="2">小3</td><td colspan="2">小4</td><td colspan="2">小5</td><td colspan="2">小6</td></tr><tr><td></td><td>男子</td><td>女子</td><td>男子</td><td>女子</td><td>男子</td><td>女子</td><td>男子</td><td>女子</td><td>男子</td><td>女子</td><td>男子</td><td>女子</td></tr><tr><td>秋田県</td><td>31.10</td><td>31.17</td><td>38.94</td><td>39.24</td><td>45.14</td><td>45.87</td><td>50.21</td><td>51.80</td><td>55.80</td><td>57.57</td><td>61.39</td><td>61.92</td></tr><tr><td>能代市</td><td>33.07</td><td>35.05</td><td>42.68</td><td>41.13</td><td>47.83</td><td>47.49</td><td>53.14</td><td>54.23</td><td>57.13</td><td>58.60</td><td>62.87</td><td>65.14</td></tr><tr><td>比 較</td><td>1.97</td><td>3.88</td><td>3.74</td><td>1.89</td><td>2.69</td><td>1.62</td><td>2.93</td><td>2.43</td><td>1.33</td><td>1.03</td><td>1.48</td><td>3.22</td></tr></table> <table><tr><td></td><td colspan="2">中1</td><td colspan="2">中2</td><td colspan="2">中3</td></tr><tr><td></td><td>男子</td><td>女子</td><td>男子</td><td>女子</td><td>男子</td><td>女子</td></tr><tr><td>秋田県</td><td>35.55</td><td>45.36</td><td>45.34</td><td>49.89</td><td>51.64</td><td>51.82</td></tr><tr><td>能代市</td><td>37.79</td><td>49.73</td><td>46.07</td><td>52.36</td><td>52.40</td><td>55.19</td></tr><tr><td>比 較</td><td>2.24</td><td>4.37</td><td>0.73</td><td>2.47</td><td>0.76</td><td>3.37</td></tr></table>					学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較	小学4年	91.7%	+1.7 p	91.0%	+0.7 p	小学5年	95.2%	+5.2 p	91.8%	+3.4 p	中学1年	92.5%	+2.5 p	91.3%	+1.2 p	中学2年	93.7%	+3.7 p	90.0%	+3.7 p	計		+13.1 p				小1		小2		小3		小4		小5		小6			男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	31.10	31.17	38.94	39.24	45.14	45.87	50.21	51.80	55.80	57.57	61.39	61.92	能代市	33.07	35.05	42.68	41.13	47.83	47.49	53.14	54.23	57.13	58.60	62.87	65.14	比 較	1.97	3.88	3.74	1.89	2.69	1.62	2.93	2.43	1.33	1.03	1.48	3.22		中1		中2		中3			男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	35.55	45.36	45.34	49.89	51.64	51.82	能代市	37.79	49.73	46.07	52.36	52.40	55.19	比 較	2.24	4.37	0.73	2.47	0.76
学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較																																																																																																																																		
小学4年	91.7%	+1.7 p	91.0%	+0.7 p																																																																																																																																		
小学5年	95.2%	+5.2 p	91.8%	+3.4 p																																																																																																																																		
中学1年	92.5%	+2.5 p	91.3%	+1.2 p																																																																																																																																		
中学2年	93.7%	+3.7 p	90.0%	+3.7 p																																																																																																																																		
計		+13.1 p																																																																																																																																				
	小1		小2		小3		小4		小5		小6																																																																																																																											
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																																										
秋田県	31.10	31.17	38.94	39.24	45.14	45.87	50.21	51.80	55.80	57.57	61.39	61.92																																																																																																																										
能代市	33.07	35.05	42.68	41.13	47.83	47.49	53.14	54.23	57.13	58.60	62.87	65.14																																																																																																																										
比 較	1.97	3.88	3.74	1.89	2.69	1.62	2.93	2.43	1.33	1.03	1.48	3.22																																																																																																																										
	中1		中2		中3																																																																																																																																	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																																																
秋田県	35.55	45.36	45.34	49.89	51.64	51.82																																																																																																																																
能代市	37.79	49.73	46.07	52.36	52.40	55.19																																																																																																																																
比 較	2.24	4.37	0.73	2.47	0.76	3.37																																																																																																																																

課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
	[具体的な課題及び取組] ・「いじめ問題対策連絡協議会」を開催して本市のいじめ問題の現状を把握し学校・家庭・地域その他関係者が連携を図って対応する。また自己有用感を高め、全ての児童生徒の安全・安心な学校生活へ向けて、各校のいじめ防止基本方針の学校・家庭・地域での共有を推進し、「いじめは絶対に許さない」という学校風土をつくる。 ・不登校・不登校傾向の児童生徒の回復に向けて、各校で校内体制を整え、関係機関とも積極的な連携が図られるようにする。また、新たな不登校児童生徒を出さないように、気になる児童生徒への即時対応、チーム対応を推進する。 ・不登校児童生徒が、学校以外でも学習や体験活動の機会を得られるように支援していく。 ・各校において新体力テストの結果を分析し、体育の授業や外遊びの奨励、部活動等により、高めたい運動特性につながる運動を積極的に取り入れるよう指導する。

事業・取組	1 基本的な学習習慣の確立 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 3 ねらいに即したＩＣＴの効果的な活用 4 ＡＩドリルを活用した学びの個別最適化						2-③
方針・目標	児童生徒の基礎学力の確実な定着と向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	1 基本的な学習習慣の確立 教科に関する調査（県学習状況調査）の学年別結果の県平均を上回る教科の割合 (実績値)＝((県平均を上回る教科の数)/(対象学年の教科の総数))×100	目標	80%以上				
		実績	100%	85.7%	88.2%		
	2 子どもが主体的に取り組める学習指導 「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」の肯定的回答の割合 (実績値)＝(県学習状況調査結果)	目標	90%以上				
		実績	91.7%	92.8%	92.1%		
	3 ねらいに即したＩＣＴの効果的な活用 学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用する回数が、週１回以上の割合 (実績値)＝(県学習状況調査結果)	目標	90%以上				
		実績	89.5%	79.5%	85.3%		
	4 ＡＩドリルを活用した学びの個別最適化 長期休業期間にＩＣＴ端末を持ち帰り、ＡＩドリルを利用した児童生徒数の割合 ※R6～ (実績値)＝((各学年利用率の計)/(学年数))	目標		40%以上	80%以上	100%	
		実績		87%	84%		
	児童生徒のＡＩドリルへの満足度（５段階） ※R6～ (実績値)＝(満足度調査(５段階※)換算点の平均値) ※「とても満足」５点～「満足していない」１点	目標		3.0以上	3.5以上	3.8以上	4.0以上
		実績		3.0	3.3		
実績及び成果	1 基本的な学習習慣の確立 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、学校訪問等での情報交換及び指導助言等を実施した。						

	2 子どもが主体的に取り組める学習指導 ① 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言等を実施した。 ・個々の児童生徒の補充学習実施の促進を図った。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の促進を図った。 ・タブレット端末等のＩＣＴを活用した授業を推進した。 ② 研修機会（初任者研修、外国語活動・外国語学力向上研修会、研究主任会、ＩＣＴ推進リーダー研修会等）の提供と各校の情報共有を行った。 ・能代市山本郡の初任者、講師を対象に、初任者研修、講師等研修会を開催し、「秋田の探究型授業」のポイント等について指導助言した。 ・小・中学校の社会科担当者を対象に「社会科授業力向上研修会」を開催し、社会科の授業力向上やタブレット端末を活用した授業づくりについて、指導主事の講義・演習、情報交換を行った。 3 ねらいに即したＩＣＴの効果的な活用 ・ＩＣＴ推進リーダー研修会等で各校の実践について情報交換を行った。 ・Ｒ５年度のＩＣＴを活用した事業改善授業の成果を受けて、７年度も、市内各校でＩＣＴを活用した授業実践が展開された。 4 ＡＩドリルを活用した学びの個別最適化 ・ＡＩドリルの活用の促進のため、市のＩＣＴ推進リーダー研修会では、各校の活用状況を確認するとともに、外部から講師を招いて、活用に関する情報提供を行った。 ・能代市教育委員会学校訪問から見えた各校の授業改善の取組について、ＩＣＴの活用事例を取り上げながら、教育情報誌「ふいご」等を通じて紹介した。 ・秋田の探究型授業や能代市の授業づくりの重点とＩＣＴの効果的な活用について、各研修会で取り上げ、授業改善のきっかけの場とした。 ・ＩＣＴ推進リーダー研修会では、ＩＣＴを活用した各校の授業の実践事例を共有し、個別最適な学びの実現につながるよう、具体的な活用方法について研修を行った。			
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る C 目標をやや下回る	B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る

【説明】

1 基本的な学習習慣の確立

- ・県学習状況調査の学年別結果の県平均を上回る教科の割合は88.2%で、目標値80%との差は+8.2ポイントであった。
- ・学校がある日の勉強時間（1時間以上勉強している児童生徒の割合）は、小学4年、5年、中学1年で県平均を上回った。

【教科に関する調査（県学習状況調査／7年度）】

小学 4年	能代市	県平均	比較
国語	83.6%	78.3%	+5.3 p
社会			
算数	76.9%	66.1%	+10.8 p
理科	77.0%	71.5%	+5.5 p

小学 5年	能代市	県平均	比較
国語	80.0%	76.5%	+3.5 p
社会	72.0%	68.7%	+3.3 p
算数	69.6%	61.8%	+7.8 p
理科	71.9%	65.9%	+6.0 p

中学 1年	能代市	県平均	比較
国語	70.6%	68.6%	+2.0 p
社会	65.7%	62.4%	+3.3 p
数学	53.8%	55.2%	-1.4 p
理科	63.3%	58.8%	+4.5 p
英語	67.1%	65.6%	+1.5 p

中学 2年	能代市	県平均	比較
国語	67.0%	66.4%	+0.6 p
社会	59.1%	57.4%	+1.7 p
数学	56.0%	54.1%	+1.9 p
理科	53.8%	56.0%	-2.2 p
英語	64.2%	62.1%	+2.1 p

【家庭学習について、学校がある日の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合（県学習状況調査）】

学 年	6年度		県との 比較	7年度		県との 比較
	能代市	県平均		能代市	県平均	
小学4年	33.6%	29.4%	+4.2 p	35.1%	29.5%	+5.6 p
小学5年	40.5%	41.8%	-1.3 p	55.5%	35.8%	+19.7 p
小学6年	56.1%	48.4%	+7.7 p			
中学1年	59.9%	58.2%	+1.7 p	52.8%	52.0%	+0.8 p
中学2年	56.7%	54.7%	+2.0 p	43.5%	46.9%	-3.4 p

2 子どもが主体的に取り組める学習指導

- ・「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」の肯定的回答の割合は92.1%で、目標値90%との差は+2.1ポイントであった。

【「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」肯定的回答の割合（県学習状況調査／7年度）】

学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較
小学4年	91.3%	+1.3%	90.4%	+0.9 p
小学5年	93.4%	+3.4%	90.0%	+3.4 p
中学1年	90.2%	+0.2%	90.4%	-0.2 p
中学2年	93.3%	+3.3%	89.4%	+3.9 p
全体	92.1%			

【「勉強が好きだ」肯定的回答の割合（県学習状況調査）】

学 年	6年度		県との比較	7年度		県との比較
	能代市	県平均		能代市	県平均	
小学4年	81.1%	75.6%	+5.5 p	77.8%	74.3%	+3.5 p
小学5年	79.9%	70.4%	+9.5 p	81.3%	69.0%	+12.3 p
小学6年	75.8%	66.0%	+9.8 p			
中学1年	52.9%	49.7%	+3.2 p	46.0%	51.8%	-5.8 p
中学2年	42.5%	44.0%	-1.5 p	40.0%	44.9%	-4.9 p

3 ねらいに即したICTの効果的な活用

- ・学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用する回数が、週1回以上の割合は85.3%で、目標値90%との差は△4.7ポイントであった。
- ・デジタルとアナログのそれぞれのよさを踏まえて効果的な活用を模索する段階に移行したことから、授業における使用頻度が5年度よりも下がったが、場面に応じて活用していることがうかがえる。今後は、発達段階に応じてICTをより効果的に活用するために、学校訪問や研修会等を通じて小学校、中学校での活用方法を共有していく。

【「あなたは、学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どのくらい使用していますか」の設問に「ほぼ毎日」「週1回以上」と回答した割合（県学習状況調査／7年度）】

学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較
小学4年	77.8%	-12.2 p	72.2%	+ 5.6 p
小学5年	77.3%	-12.7 p	73.0%	+ 4.3 p
中学1年	93.2%	+3.2 p	71.7%	+21.5 p
中学2年	92.9%	+2.9 p	82.7%	+10.2 p
全体	85.3%			

4 AIドリルを活用した学びの個別最適化

- ・長期休業期間にICT端末を持ち帰り、AIドリルを利用した児童生徒数の割合は84%で、目標値80%との差は+4ポイントであった。

	【A I ドリルを利用した児童生徒数の割合(長期休業期間に行ったアンケート)】					
	学 年	利用率	学 年	利用率	学 年	利用率
	小学1年	58%	小学4年	100%	中学1年	82%
	小学2年	98%	小学5年	82%	中学2年	63%
	小学3年	100%	小学6年	74%	中学3年	51%
					全体平均	84%
	・児童生徒のA I ドリルへの満足度(5段階)は3.3点で、目標値3.5点との差は△0.2点であった。					
	【A I ドリルの満足に対する5段階回答の換算点(※)】					
	(※) 段階回答換算 最高点「とても満足」5点 最低点「満足していない」1点					
	学 年	評価平均	学 年	評価平均	学 年	評価平均
小学1年	2.6	小学4年	3.6	中学1年	3.2	
小学2年	2.9	小学5年	3.0	中学2年	2.9	
小学3年	3.4	小学6年	2.9	中学3年	2.8	
				全体平均	3.3	
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 ()					
	[具体的な課題及び取組] ・A I ドリルの活用を含む基本的な学習習慣の確立については、小・中連携による継続的、系統的な学び方指導、家庭への啓発等を引き続き各学校に指導する。 ・新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を目指し、各種研修会等で広く周知する。					

事業・取組	1 学力向上のための研修 2 安全・安心な学校づくりのための研修 3 学びをより豊かにするための研修						2-④	
方針・目標	学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	各研修会参加者の満足度 (実績値)=(利用者満足度調査(4段階※)換算点の平均値)	目標	3.6 以上					
	※実際に役立つ内容であったか「そう思う」4点～「思わない」1点	実績	3.8	3.9	3.9			
実績及び成果	① 職務別研修を実施した。 ・教務主任・研究主任協議会（4月） 校務支援システムの効果的な活用に関する全体研修会と、カリキュラム・マネジメントの推進についての協議、情報交換 ・特別支援教育学級担任等研修会（6月） 秋田県教育委員会指導主事による講話・演習、情報交換 ② 教職経験者研修を実施した。 ・初任者研修（5、8月） 1回目：教育懇談（教育長講話、課長・指導主事による講義等） 2回目：郷土研修（能代市の産業、自然、文化、施設） ・講師等研修（6月） ③ テーマ別研修を実施した。 ・読書活動推進研修会（5月） ・幼保小連携推進協議会（5月、11月、2月） ・社会科学力向上研修会（7月） ・外国語研修会（8月） ④ 東京都豊島区との教育連携によるオンラインでの教員、児童生徒交流を実施した。 ・淳城南小と朋有小、第五小とさくら小、向能代小と目白小、浅内小と清和小、二ツ井小と豊成小 ・能代第二中と巣鴨北中、能代東中と駒込中、能代南中と西巣鴨中、二ツ井中と明豊中 ・東京都豊島区との教育連携を生かした教員交流研修（10月） ○各種研修会では、参加者同士が対話しながら主体的に参加できるよう、研修内容を工夫することができた。 ○新学習指導要領や能代市の教育方針及び学校の課題等について、各校の日常の取組に生かすことができるよう、専門的な分野に秀でた指導主事やアドバイザー等を講師として招聘した。 ○アンケート等を基にししながら、参加者のニーズを踏まえた研修会の計画に努め、研修会の冒頭で、会のねらい等を押さえた上で研修会を開催し、研修内容の充実を図った。							

点 検 ・ 評 価	評価	A		A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり																																												
				C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る																																												
	[説明] ・各種研修会参加者の満足度は 3.9 点で、目標値 3.6 点との差は+0.3 点であった。 【各種研修会の事後アンケートでの「実際に役立つ内容であったか」の設問に対する 4 段階回答の換算点 (※)】 (※) 段階回答換算 最高点「そう思う」4 点 最低点「思わない」1 点 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教員に直接関わる各種研修</th> <th>6 年度 評価平均</th> <th>7 年度 評価平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>教務主任・研究主任協議会</td> <td>3.8</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>特別支援教育学級担任等研修会</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>初任者研修</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>講師等研修</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>読書活動推進研修会</td> <td>3.9</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>幼保小連携推進協議会</td> <td>3.9</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>外国語活動・外国語研修会</td> <td>4.0</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>理科学力向上研修会</td> <td>3.8 (理科)</td> <td>4.0 (社会科)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>I C T 推進リーダー研修会</td> <td>3.6</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全体平均</td> <td>3.9</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table>						教員に直接関わる各種研修	6 年度 評価平均	7 年度 評価平均	1	教務主任・研究主任協議会	3.8	4.0	2	特別支援教育学級担任等研修会	4.0	4.0	3	初任者研修	4.0	4.0	4	講師等研修	4.0	4.0	5	読書活動推進研修会	3.9	4.0	6	幼保小連携推進協議会	3.9	3.7	7	外国語活動・外国語研修会	4.0	3.9	8	理科学力向上研修会	3.8 (理科)	4.0 (社会科)	9	I C T 推進リーダー研修会	3.6	3.8		全体平均	3.9	3.9
	教員に直接関わる各種研修	6 年度 評価平均	7 年度 評価平均																																														
1	教務主任・研究主任協議会	3.8	4.0																																														
2	特別支援教育学級担任等研修会	4.0	4.0																																														
3	初任者研修	4.0	4.0																																														
4	講師等研修	4.0	4.0																																														
5	読書活動推進研修会	3.9	4.0																																														
6	幼保小連携推進協議会	3.9	3.7																																														
7	外国語活動・外国語研修会	4.0	3.9																																														
8	理科学力向上研修会	3.8 (理科)	4.0 (社会科)																																														
9	I C T 推進リーダー研修会	3.6	3.8																																														
	全体平均	3.9	3.9																																														
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 () [具体的な課題及び取組] ① ミドルリーダーを育成する研修の充実を図る。 ・豊島区との教育交流事業の充実によるミドルリーダーの実践的指導力の向上に向け、教員同士が協議を通して研修を深める交流を継続する。 ・教務主任・研究主任協議会の充実 8 年度は、初任者研修統括指導教員の「ミドルリーダーに期待すること」と題した講演を拝聴する。その後、グループ協議で日々の課題等を話し合うことで、ミドルリーダーの学校経営への参画意識と力量の向上を図る。 ② 教科等の実践的指導力向上に関する研修の充実を図る。 ・研究授業後の研究会のコーディネートや指導助言等により、各校の組織的な研修会の充実を図る。 ・タブレットをはじめとした I C T 機器を効果的に活用した授業づくりの充実を図る。 ・教科の授業力向上研修会や外国語研修会等において、「I C T の効果的活用」「秋田の探究型授業の在り方」「指導方法の工夫」等について協議、情報交換を行い、研修会参加者が自校において研修内容を還元し、授業改善が市内全小・中学校において一層推進されるようにする。 ③ 生徒指導の機能を指導に生かすための研修の充実を図る。 ・新たな不登校を出さないため、教職員の支援の在り方や体制について理解を深める、不登校に関する研修会を実施する。																																																

	・各校の現状と課題を分析し、学校全体の指導力向上を図るため、市教育委員会指導主事と児童生徒支援アドバイザーによる全小・中学校訪問を実施する。 ・各小・中学校に配置している心の教室相談員を対象とした研修会を実施する。 ④ 特別支援教育の充実を図る。 ・特別支援教育学級担任等研修会等、学校のニーズに応じ、支援の在り方や工夫に関する情報共有の場を設定し、教育力を高めるための研修会を実施する。 ・市特別支援教育統括コーディネーターやアドバイザーを活用し、特別な支援を要する児童生徒の学びの充実を図る。 ⑤ 幼保小連携を推進する。 ・学校及び保育所や認定こども園が互いに子どもの育ちを理解し合い、互いの連携を深めるため、年3回（小学校1年生担任や年長児担任、管理職対象）の連携推進協議会を開催する。 ・年間の交流計画を作成し、育てたい資質・能力を共有しながら積極的な交流活動を行う。また、幼保小の架け橋期である就学前の5歳児からと小学校1年生の2年間におけるカリキュラムの開発を進める。 ・能代市初任研Ⅰに、幼稚園・保育園・認定こども園の1～3年目の保育教諭及び保育士が参加する。 今後も各学校において能代市が目指す教育の方向性への理解が深まり、教員一人一人の力量向上が図られるよう、各学校における教育課題等の実情に応じた実践的な研修を企画、実施していく。また、研修内容を教育情報誌「ふいご」や教育研究所報「つなぐ」で周知し、教職員の資質・能力の向上を図る。
--	---

事業・取組	学校安全の推進						2-⑤	
方針・目標	児童生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送るため、学校安全に関する指導を推進するとともに、学校施設の適切な維持管理や必要な支援員の配置、就学援助等の教育環境を整えます。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	各校からの点検・改善要望箇所の対策実施率	目標	90%以上					
	(実績値)=((対策済件数)/(点検・改善要望数))×100	実績	93.8%	88.9%	92.9%			
実績及び成果	学校安全の推進							
	① 教育活動における安全指導							
	・ 学校訪問等で学校安全に関する指導助言を行った。							
	・ 市生徒指導協議会で各校の生徒指導主事に事故発生状況を伝えるとともに、安全に関する指導助言を行った。							
	・ 事故発生後の各校からの速やかな報告、迅速な対応が徹底されてきている。							
		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
	登下校時の事故	9件	9件	5件				
	校内における事故	25件	33件	30件				
	② 各学校の実態に応じた安全点検等の実施							
	・ 関係機関と連携し、通学路の安全点検を合同で実施し、専門家の視点から児童の安全面を考慮した改善を進めることができた。毎年、点検・改善が進められていることから、登下校における危険箇所が減少し、児童生徒の不注意以外が原因となる事故は減少している。							
点検・評価	③ 地域連携安全・安心推進事業							
	・ 令和5年度の地域連携安全・安心推進事業の拠点校である浅内小学校と能代南中学校での取組を基に、市内各校で地域や関係機関と連携した避難訓練を実施している。避難所開設訓練や避難者の誘導、児童の引き渡し訓練等、より実践的な内容を取り入れた訓練を行っている。							
	④ 学校給食における食の安全の取組							
	・ 食育デー（毎月19日）に地場産物を多く使用した献立を提供した。							
	・ 食物アレルギーの児童生徒を把握し、代替給食を提供した。（74人）							
	・ 危険な異物等が給食に入り込まないように、衛生管理面の徹底に努めた。							
	学校給食における危険な異物等の混入：0件							
	食物アレルギーによるアナフィラキシーの発生件数：0件							
	⑤ 心のケアの充実							
	・ 特別支援教育支援員を31人、特別支援教育指導員を10人配置							
・ 心の教室相談員を13人配置（小・中学校全ての学校）								
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る					
	[説明] ・ 各校からの点検・改善要望箇所の対策実施率は92.9%で、目標値90%との差は+2.9ポイントであった。							

	【通学路安全点検】			
		5 年度	6 年度	7 年度
	点検・改善要望箇所	16 件	9 件	14 件
	対策済み	15 件	8 件	13 件
	対策検討	1 件	1 件	1 件
	対策実施率	93.8%	88.9%	92.9%
※ 5 年度の対策検討 1 件は、6 年度 4 月に対策済み 6、7 年度の対策検討（継続案件）は関係部署、機関へ対応依頼済み				
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）			
	[具体的な課題及び取組] ・ 学校、地域、保護者、関係機関との連携を密にし、多くの目で児童生徒を見守る体制づくりを推進し、事故防止に努めていく。 ・ 5 年度に地域連携安全・安心推進事業の拠点校であった浅内小学校と能代南中学校の実践を中心に、各校が保護者や地域、関係機関と連携した防災教育を行い、児童生徒の防災意識を高めるよう、働き掛けをする。また、災害や不審者対応等、様々な場面を設定して、小・中学校 9 年間を見据えた学校安全教育の推進が図られるよう支援する。			

事業・取組	就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進						2-⑤																	
方針・目標	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者等に対する支援を一層充実させ、子どもたちが安全・安心に過ごせる良好な教育環境をつくります。																							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																	
	制度周知実施の対象範囲 (実績値)=(評価基準と実施した周知対象範囲との比較)	目標値	評価基準以上																					
	※(評価基準)=(R4 年度に実施した周知対象範囲)	実績	維持	維持	維持																			
実績及び成果	広報のしろや市ホームページへ掲載しているほか、奨学金にあっては市内の中学校や県内の高等学校、大学、短期大学等に周知依頼をし、就学援助にあっては市内小・中学校に周知依頼することで対象者への確実な情報提供を図っており、見込み程度の利用人数となっている。 1 就学援助 庁内の関係窓口に案内文書や申請書を備え付けているほか、新入学児童生徒には保護者へ案内文書の直接送付、在校児童生徒には学校を通して制度案内と申請書を配付している。結果、認定割合は 25%前後と県内でも高い水準となっている。 (8 年 3 月末現在) 要保護 33 人、準要保護 518 人、認定割合は 23.3% (6 年度 24.0%) 県内でも高い水準となっている。 2 能代市奨学金貸付事業 奨学生募集の際は、市内中・高等学校、県内専門学校・大学、庁内関係課のほか、山本郡の 3 町に周知している。8 月から募集を開始し、定員に満たない分について随時追加募集を行ったことから、AO 入学等様々な時期に対応でき、採用者が定員を満たした。 定員：高校 5 人、大学等 20 人 採用者数 (辞退者数除く) <table><tr><td></td><td>5 年度</td><td>6 年度</td><td>7 年度</td></tr><tr><td>高校</td><td>3 人</td><td>1 人</td><td>1 人</td></tr><tr><td>大学等</td><td>21 人</td><td>22 人</td><td>20 人</td></tr><tr><td>計</td><td>24 人</td><td>23 人</td><td>21 人</td></tr></table> 3 ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 定員に満たない分について随時追加募集を行い応募の機会を増やしたが、3 町の採用者数が定員を満たさなかった。 定員：大学等 30 人 (能代市 19 人、三種町 6 人、八峰町 3 人、藤里町 2 人)									5 年度	6 年度	7 年度	高校	3 人	1 人	1 人	大学等	21 人	22 人	20 人	計	24 人	23 人	21 人
	5 年度	6 年度	7 年度																					
高校	3 人	1 人	1 人																					
大学等	21 人	22 人	20 人																					
計	24 人	23 人	21 人																					

	採用者数（辞退者数除く）			
		5 年度	6 年度	7 年度
	能代市	20 人	19 人	23 人
	その他	1 人	4 人	2 人
	計	21 人	23 人	25 人
点 検 ・ 評 価	4 奨学金返還助成事業 県の返還助成を終了した方に対し、制度概要のチラシを送付するなど、関係機関と連携し周知を図っており、助成者数は例年並に推移している。 助成者数：7 年度 75 人（6 年度 46 人）			
	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る	
	[説明] ・制度周知実施の対象範囲は、4 年度に実施した周知対象範囲を維持した。			
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）			
	[具体的な課題及び取組] 一定程度の利用申し込みがある状況であり、さらなる周知方法の拡大等について検討しながら今後も継続して周知に努める。奨学金貸付事業については、奨学金返還助成制度と合わせて周知をし、利用促進を図る。			

事業・取組	学校施設の老朽化対策等の推進						2-⑤																																																																																																											
方針・目標	児童生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送るため、学校施設の適切な維持管理を実施します。																																																																																																																	
目標指標	指標				R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																									
	大規模改修工事完了校数(累計) ※「教育施設等長寿命化計画」 R20年度までに13校 (実績値)=(大規模改修工事を完了した学校数の累計) 〔指数〕				目標	4.25	5.75	6	7	7.25																																																																																																								
					実績値	4.25	5.75	6																																																																																																										
	校舎		体育館	計																																																																																																														
	I期	II期																																																																																																																
		0.25	0.25	0.50	1.0																																																																																																													
実績及び成果	1 学校施設の老朽化対策等の推進 ① 能代市教育施設長寿命化計画に基づく改修事業の実施 国交付金(学校施設環境改善交付金)を活用し改修を行った。 ○能代第二中学校(校舎)大規模改修工事Ⅱ期 照明器具のLED化、外壁・屋根の改修、エアコン設置ほか 外壁・屋根の改修、付属室のLED化、内部改修ほか ＜大規模改修工事＞ <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td colspan="2">R7</td><td>R8</td><td>計</td></tr><tr><td>湊城西小</td><td>実施済</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td></tr><tr><td>湊城南小</td><td>実施済</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td></tr><tr><td>第四小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td></tr><tr><td>第五小</td><td>校舎Ⅰ</td><td>校舎Ⅱ 体育館</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td></tr><tr><td>向能代小</td><td>実施済</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td></tr><tr><td>浅内小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td></tr><tr><td>二ツ井小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td></tr><tr><td>能代一中</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td></tr><tr><td>能代二中</td><td></td><td>校舎Ⅰ</td><td>校舎Ⅱ</td><td>0.25</td><td>体育館</td><td>0.5</td></tr><tr><td>能代東中</td><td></td><td>体育館</td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td></tr><tr><td>東雲中</td><td></td><td></td><td>トイレ</td><td></td><td></td><td>0.0</td></tr><tr><td>能代南中</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td></tr><tr><td>二ツ井中</td><td>実施済</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td></tr><tr><td>(累)計</td><td>4.25</td><td>5.75</td><td></td><td>6.0</td><td></td><td>6.0</td></tr></table> ※実施済校の工事完成年度 R2年度：向能代小学校 R3年度：湊城南小学校 R5年度：湊城西小学校・二ツ井中学校										R5	R6	R7		R8	計	湊城西小	実施済					1.0	湊城南小	実施済					1.0	第四小						0.0	第五小	校舎Ⅰ	校舎Ⅱ 体育館				1.0	向能代小	実施済					1.0	浅内小						0.0	二ツ井小						0.0	能代一中						0.0	能代二中		校舎Ⅰ	校舎Ⅱ	0.25	体育館	0.5	能代東中		体育館				0.5	東雲中			トイレ			0.0	能代南中						0.0	二ツ井中	実施済					1.0	(累)計	4.25	5.75		6.0		6.0
	R5	R6	R7		R8	計																																																																																																												
湊城西小	実施済					1.0																																																																																																												
湊城南小	実施済					1.0																																																																																																												
第四小						0.0																																																																																																												
第五小	校舎Ⅰ	校舎Ⅱ 体育館				1.0																																																																																																												
向能代小	実施済					1.0																																																																																																												
浅内小						0.0																																																																																																												
二ツ井小						0.0																																																																																																												
能代一中						0.0																																																																																																												
能代二中		校舎Ⅰ	校舎Ⅱ	0.25	体育館	0.5																																																																																																												
能代東中		体育館				0.5																																																																																																												
東雲中			トイレ			0.0																																																																																																												
能代南中						0.0																																																																																																												
二ツ井中	実施済					1.0																																																																																																												
(累)計	4.25	5.75		6.0		6.0																																																																																																												

	② 常時の調査・点検等 法定・任意点検、職員による随時巡回等により状況を把握し、優先度を考慮し対応した。		
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・大規模改修工事完了校数（累計）は6.0で、目標値6.0との差は±0であった。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）		
	[具体的な課題及び取組] ・大規模改修等に充てる財源の確保 能代市教育施設長寿命化計画に基づき整備計画を国へ示し、引き続き交付金と有利な起債の活用に努める。 ・能代市教育施設長寿命化計画（個別施設計画）の見直し 令和8年度に能代市公共施設等総合管理計画の改訂作業を行うことから、本計画についても整合性を図りながら見直しを進めていく。		

基本目標

3 より心豊かで生き活きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進

だれもが豊かな人生を送ることができるよう、学んだことを地域活動に活かすとともに、支え合う中でつながりを深めていきます。

【施策の方向性】

① 生涯にわたる多様な学びの機会の提供

多様な学習ニーズやライフステージに応じた学びの充実を図り、だれでも参加できる講座の開催や情報発信に努めます。

② 学びと活動をつなげる環境づくり

学びによる仲間づくりを支援するほか、学びの成果を地域活動に活かす場や機会や、だれでも気軽に集い、交流できる場の提供に努めます。

③ 若者の主体的な活動や地域活動への参画促進

若者の仲間づくりや自主的な活動を支援するほか、地域づくりやボランティア活動をはじめとして、社会への実践的な参画を奨励、促進します。

大橋 純一 氏

今年度の取組からは、市民一人一人の学びを支えるだけでなく、その学びを人とのつながりや地域活動へと結びつけようとする姿勢がうかがえました。基本目標 3 に掲げた事業の多くが目標を達成しており、生涯学習活動が着実に展開されていることが読み取れます。

生涯学習推進事業では、出前講座の開催回数が目標値には届かなかったものの、受講者は 3,572 人と相当数に上りました。開催数という量的な側面では課題が残る一方、1 講座当たりの参加者は増加しており、市民の学習ニーズに応じた内容が提供されていることがうかがえます。今後は講座機会の確保に加え、学習成果を地域へ還元する仕組みづくりが進むことを期待します。

図書館については、利用者満足度が 4.40 点と高い水準を維持しており、市民の学びを支える拠点として安定した運営が行われています。島田五空生誕 150 年記念事業をはじめとする特色ある取組や、学校・関係機関との連携は、読書活動の推進だけでなく、地域文化の継承にも寄与しているものと考えられます。来館者数も前年度を上回っており、図書館が身近な学びの場として市民に定着していることがうかがえます。

また、公民館活動や自主学習グループの活動も活発であり、講座参加者数は 7,415 人、自主学習グループ等の登録団体数も 265 団体となりました。学習機会の提供にとどまらず、仲間づくりや地域交流の場としての機能が発揮されていることは注目されます。

人口減少や地域コミュニティの担い手不足が課題となる中、生涯学習には知識の習得だけでなく、人と人との結びつけ、地域の活力を生み出す役割が期待されています。今年度の取組からは、その基盤となる環境整備が着実に進められていることがうかがえました。今後も学びの成果が地域活動やまちづくりへとつながることを期待します。

佐藤 俊之 氏

学びを通じて人づくり・地域づくりが促進され、学んだことを地域に活かしながらつながりを深めていけるような事業・取組が数多く行われました。

出前講座は開催数こそ減少しましたが、参加者数は昨年の 1.3 倍と増加しました。これは、講座内容が多岐にわたるとともにニーズに即したものであったと考えることができます。また、生涯学習ボランティアの受講者数も 1.5 倍になり、学んだことを実践して地域に活かそうとする意欲の表れだと思います。

図書館管理運営事業については、図書館利用者満足度が目標を優位に上回っており、充実した図書館運営が窺えます。島田五空生誕 150 年記念事業など、タイムリーな話題提供も評価できます。

公民館活動事業、勤労青少年ホーム活動事業等では、開設講座が目標を上回り、参加者数も 1 講座平均 50 人程度になっていて、とても充実しています。また、開催事業内容は、子どもから高齢者まで幅広い世代に対応しています。特に親子体験活動は昨年より大幅に参加者が増加しており、ニーズや参加しやすい環境づくりの成果ではないでしょうか。中高生ボランティア育成講座参加者数も目標を大きく上回っており、継続していきたいと考えます。また、勤労青少年ホームの利用グループについては昨年度の数が維持されているので、活動参加者の増加を期待したいものです。

基本目標に掲げている「心の豊かさ、つながり、学び」を意識した活動の継続をお願いします。

事業・取組	生涯学習推進事業					3-①																										
方針・目標	多様な学習ニーズやライフステージに応じた学びの充実を図り、だれでも参加できる講座の開催や情報発信に努めます。																															
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																									
	出前講座の開催数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	153 回以上																													
		実績	174 回	131 回	117 回																											
実績及び成果	1 出前講座（市職員が講師となり、市の事業や各種制度を説明） 「特殊詐欺・悪質商法とその対応策」「フレイル予防に関すること」「白神ネギについて」等 117 回開催（受講者数 3,572 人） 2 生涯学習ボランティア（登録ボランティアが講師（登録数 43）） 「星空観察会」「浴衣着付け」「日本舞踊」等 8 回開催（受講者数 160 人） （参 考） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">6 年度</th><th colspan="2">7 年度</th></tr> <tr> <th>開催数</th><th>受講者数</th><th>開催数</th><th>受講者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座</td><td>131 回</td><td>2,800 人</td><td>117 回</td><td>3,572 人</td></tr> <tr> <td>生涯学習ボランティア</td><td>7 回</td><td>104 人</td><td>8 回</td><td>160 人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>138 回</td><td>2,904 人</td><td>125 回</td><td>3,732 人</td></tr> </tbody> </table> 3 生涯学習奨励員（25 人委嘱） 学習会、研修会等への参加、学習相談への対応等								区 分	6 年度		7 年度		開催数	受講者数	開催数	受講者数	出前講座	131 回	2,800 人	117 回	3,572 人	生涯学習ボランティア	7 回	104 人	8 回	160 人	合 計	138 回	2,904 人	125 回	3,732 人
区 分	6 年度		7 年度																													
	開催数	受講者数	開催数	受講者数																												
出前講座	131 回	2,800 人	117 回	3,572 人																												
生涯学習ボランティア	7 回	104 人	8 回	160 人																												
合 計	138 回	2,904 人	125 回	3,732 人																												
点検・評価	評価	C	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る [説明] ・出前講座の開催数は 117 回で、目標値 153 回との差は△36 回であった。 ・開催数は減となったが、受講者数は昨年度を 687 人上回る実績となった。																													
課題及び今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・生涯学習奨励員による学習の成果等を、これまで以上に地域へ還元する仕組みづくりが重要である。 ・今後も引き続き、生涯にわたる学びの実践のみならず、学びから得た繋がりがより大きな地域の“わ”へ繋がるよう努める。 ・周知方法の工夫など、開催数の増加に繋がる取組も必要である。																															

事業・取組	図書館管理運営事業						3-①	
方針・目標	多様な学習ニーズやライフステージに応じた学びの充実を図り、だれでも参加できる講座の開催や情報発信に努めます。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	図書館利用者の満足度 (実績値)=(利用者満足度調査(5段階※)換算点の平均値) ※「満足」5点～「不満」1点	目標	4以上					
		実績	4.37	4.33	4.40			
実績及び成果	・島田五空生誕150年記念事業「五空百句プロジェクト」を企画し、地域文化へ貢献した人物への理解を深める契機となった。							
	・広報・北羽新報・図書館だより等により新刊やお薦め本を紹介するとともに、各館ともに工夫を凝らしたテーマ展示を行い、読書活動の推進を図っている。							
	図書館運営方針に基づき、各種事業等を展開した。							
	1 来館者数、貸出冊数 ※統計は全て2館（能代・二ツ井）合計							
	年度/項目	来館者数	貸出冊数					
			個人貸出	団体貸出	合計冊数			
	7年度	105,465人	125,642冊	10,715冊	136,357冊			
	6年度	104,954人	138,539冊	10,525冊	149,064冊			
	2 図書館資料の充実（蔵書冊数）							
	年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計冊数			
7年度	138,920冊	20,400冊	44,182冊	203,502冊				
6年度	139,052冊	20,096冊	43,566冊	202,714冊				
3 主な図書館サービス								
項目/年度	6年度			7年度				
予約冊数	6,485冊			6,025冊				
他館との相互貸借（借受）	706冊			651冊				
レファレンス（資料調査・案内等）	9,636件			8,712件				
インターネット端末利用者数	2,161人			1,920人				
コピーサービス	2,973枚			1,794枚				
配本サービス等	177回/7,523冊			196回/8,291冊				
4 読書活動の推進と学習機会の提供								
項目/年度	6年度			7年度				
おはなし会	40回/455人			30回/313人				
図書館講座	15回/359人			4回/100人				
こども向けイベント	11回/262人			11回/264人				
選書体験（小・中学校）	3回/ 41人			3回/ 33人				
島田五空生誕150年記念事業	—			1回/628人				
5 市・学校・社会教育施設等との連携								
ア 「子育て・家庭教育に関する本」紹介リーフレットの作成								
保育所向け・小学校向け・中学校向け（生涯学習・スポーツ振興課）								

	イ 男女共同参画関連図書の展示、貸出 (6月、11月／市民活力推進課) ウ 学校・施設等への配本 (24ヵ所) エ 読み聞かせおすすめ絵本の紹介 (年1回／能代図書館ホームページで公開) オ 職場体験・インターンシップ・社会科見学等の受入れ 6 指定管理者との連携 ア ニツ井館・能代館での資料搬送 (週2回 ※予約資料は週3回) イ 月例打合せ (毎月1回) ウ 特別貸出【ニツ井図書館で実施】 (能代図書館の図書借り入れ) 一般図書 約 1,000冊 × 2回 (7・1月) 児童図書 約 200冊 × 3回 (6・11・3月)													
点 検 ・ 評 価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る											
	[説明] ・図書館利用者満足度の平均値は4.40点で、目標値4点との差は+0.40点であった。 【図書館利用者満足度調査結果 (全体的な満足度平均)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>能代図書館</th><th>ニツ井図書館</th><th>(能・二) 平均</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7年度</td><td>4.38</td><td>4.42</td><td>4.40</td></tr> <tr> <td>6年度</td><td>4.39</td><td>4.26</td><td>4.33</td></tr> </tbody> </table> 5段階評価…「満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「不満」1点			年度	能代図書館	ニツ井図書館	(能・二) 平均	7年度	4.38	4.42	4.40	6年度	4.39	4.26
年度	能代図書館	ニツ井図書館	(能・二) 平均											
7年度	4.38	4.42	4.40											
6年度	4.39	4.26	4.33											
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 () [具体的な課題及び取組] ・市民の学習要求に応えられるよう図書資料の充実に努め、読書活動を推進する。 ・図書館利用者満足度調査や講座後のアンケート等により、利用者のニーズを把握し、親しまれる図書館運営を推進する。 ・学校や他の公共図書館、図書館ボランティア等との連携を図り、多様な学習機会の提供やサービスの充実に努める。													

事業・取組	公民館活動事業、勤労青少年ホーム活動事業、働く婦人の家活動事業、市民文化振興事業						3-②																																																																																										
方針・目標	学びによる仲間づくりを支援するほか、学びの成果を地域活動に活かす場や機会や、だれでも気軽に集い、交流できる場の提供に努めます。																																																																																																
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																																																																										
	中央公民館・地区公民館等開設講座数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	140 以上																																																																																														
		実績	150	165	160																																																																																												
	自主学習グループ等登録団体数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	259 以上																																																																																														
		実績	257	264	265																																																																																												
実績及び成果	1 中央公民館・地区公民館等開設講座・回数 <table><tr><td>項目／年度</td><td>5 年度</td><td>6 年度</td><td>7 年度</td></tr><tr><td>講座数</td><td>150講座</td><td>165講座</td><td>160講座</td></tr><tr><td>回数（日数）</td><td>188回</td><td>201回</td><td>182回</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>6,576人</td><td>7,352人</td><td>7,415人</td></tr><tr><td>対人口比(各年3.31現在)</td><td>13.7%</td><td>15.6%</td><td>16.2%</td></tr></table> 2 中央公民館・地区公民館等開催事業内訳（数値は延べ数） <table><tr><td>分野</td><td>主な事業内容</td><td>対象</td><td>回数 または日数</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>家庭教育 (幼児教育)</td><td>親子体験活動</td><td>年中・年長児・小学生と保護者</td><td>13回</td><td>395人</td></tr><tr><td rowspan="3">青少年教育</td><td>体験活動</td><td>地区小学生</td><td>20回</td><td>331人</td></tr><tr><td>ボランティア育成</td><td>中・高校生</td><td>11回</td><td>137人</td></tr><tr><td>障がい者の生涯学習支援</td><td>支援学校生ほか</td><td>7回</td><td>52人</td></tr><tr><td rowspan="4">成人教育</td><td>集合学習（市民学校）</td><td>一般成人</td><td>46回</td><td>587人</td></tr><tr><td>集合学習（その他講座等）</td><td>一般成人</td><td>14回</td><td>198人</td></tr><tr><td>働く婦人の家講座</td><td>一般成人</td><td>10回</td><td>109人</td></tr><tr><td>勤労青少年ホーム講座</td><td>一般成人</td><td>2回</td><td>18人</td></tr><tr><td>高齢者教育</td><td>集合学習（寿大学）</td><td>高齢者</td><td>37回</td><td>1,278人</td></tr><tr><td rowspan="2">文化活動</td><td>公民館祭・文化祭</td><td>市民等</td><td>15日間</td><td>3,378人</td></tr><tr><td>ロビー展（二ツ井公民館）</td><td>市民等</td><td>3回</td><td>900人</td></tr><tr><td>コミュニティ活動</td><td>地域づくり講演会</td><td>一般成人</td><td>1回</td><td>20人</td></tr><tr><td>創作活動</td><td>創作作品活動（創作かるたコンテスト作品応募・展示）</td><td>市民等</td><td>3日間 ※展示期間</td><td>12人 ※作品数</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>182回</td><td>7,415人</td></tr></table> 3 事業周知方法 ○中央公民館ほか（指定管理）…広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ・フェイスブック・X（旧Twitter）・ポスター・チラシ ○二ツ井公民館（指定管理）…広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ・Instagram・ポスター・チラシ								項目／年度	5 年度	6 年度	7 年度	講座数	150講座	165講座	160講座	回数（日数）	188回	201回	182回	参加者数	6,576人	7,352人	7,415人	対人口比(各年3.31現在)	13.7%	15.6%	16.2%	分野	主な事業内容	対象	回数 または日数	参加者数	家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児・小学生と保護者	13回	395人	青少年教育	体験活動	地区小学生	20回	331人	ボランティア育成	中・高校生	11回	137人	障がい者の生涯学習支援	支援学校生ほか	7回	52人	成人教育	集合学習（市民学校）	一般成人	46回	587人	集合学習（その他講座等）	一般成人	14回	198人	働く婦人の家講座	一般成人	10回	109人	勤労青少年ホーム講座	一般成人	2回	18人	高齢者教育	集合学習（寿大学）	高齢者	37回	1,278人	文化活動	公民館祭・文化祭	市民等	15日間	3,378人	ロビー展（二ツ井公民館）	市民等	3回	900人	コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1回	20人	創作活動	創作作品活動（創作かるたコンテスト作品応募・展示）	市民等	3日間 ※展示期間	12人 ※作品数	合 計			182回	7,415人
項目／年度	5 年度	6 年度	7 年度																																																																																														
講座数	150講座	165講座	160講座																																																																																														
回数（日数）	188回	201回	182回																																																																																														
参加者数	6,576人	7,352人	7,415人																																																																																														
対人口比(各年3.31現在)	13.7%	15.6%	16.2%																																																																																														
分野	主な事業内容	対象	回数 または日数	参加者数																																																																																													
家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児・小学生と保護者	13回	395人																																																																																													
青少年教育	体験活動	地区小学生	20回	331人																																																																																													
	ボランティア育成	中・高校生	11回	137人																																																																																													
	障がい者の生涯学習支援	支援学校生ほか	7回	52人																																																																																													
成人教育	集合学習（市民学校）	一般成人	46回	587人																																																																																													
	集合学習（その他講座等）	一般成人	14回	198人																																																																																													
	働く婦人の家講座	一般成人	10回	109人																																																																																													
	勤労青少年ホーム講座	一般成人	2回	18人																																																																																													
高齢者教育	集合学習（寿大学）	高齢者	37回	1,278人																																																																																													
文化活動	公民館祭・文化祭	市民等	15日間	3,378人																																																																																													
	ロビー展（二ツ井公民館）	市民等	3回	900人																																																																																													
コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1回	20人																																																																																													
創作活動	創作作品活動（創作かるたコンテスト作品応募・展示）	市民等	3日間 ※展示期間	12人 ※作品数																																																																																													
合 計			182回	7,415人																																																																																													

	○地区公民館 … (地域住民) チラシ (地域以外) 広報			
	4 文化月間の設定			
	6 年度 (10/11～11/10)		7 年度 (10/17～11/9)	
	展示部門	7 団体 入場者数 5,647 人	5 団体 入場者数 4,180 人	
	舞台部門	18 団体 入場者数 641 人	17 団体 入場者数 600 人	
	5 自主学习グループ等登録団体数			
	※自主学习グループ+働く婦人の家利用グループ			
		5 年度	6 年度	7 年度
	団体数	257団体	264団体	265団体
	人数	3,129人	3,315人	3,315人
	対人口比(各年3.31現在)	6.5%	7.1%	7.2%
点 検 ・ 評 価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る	
	[説明] ・中央公民館・地区公民館等開設講座数は160講座で、目標値140講座との差は+20講座であった。回数は182回で、6年度より19回下回ったが、参加者数は対人口比で0.6ポイント上回った。 ・自主学习グループ等登録団体数は265団体で、目標値259団体との差は+6団体であった。			
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 () [具体的な課題及び取組] ・講座へ参加しやすい時間帯の設定や、他行事と重ならないような日程調整を引き続き行っていく。 ・引き続き指定管理者との月例打ち合わせ及び公民館長会議(年1回)を行い、情報交換を密にする。 ・能代市芸術文化協会と連携し、市民文化月間への参加団体の維持・拡大を図る。			

事業・取組	勤労青少年ホーム活動事業、公民館活動事業						3-③	
方針・目標	若者の仲間づくりや自主的な活動を支援するほか、地域づくりやボランティア活動をはじめとして、社会への実践的な参画を奨励、促進します。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	勤労青少年ホーム利用グループ数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値+1]	目標	5 以上					
		実績	5	6	6			
	中央公民館開催中高生ボランティア育成講座参加者数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	68 人以上					
		実績	79 人	141 人	137 人			
	実績及び成果	1 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録者数						
		5 年度	6 年度	7 年度				
利用グループ数		5団体	6団体	6団体				
登録人数		18人	18人	21人				
2 中央公民館開催中高生ボランティア育成講座事業内訳（数値は延べ数）								
		5 年度	6 年度	7 年度				
	回数	8回	12回	13回				
	参加者数	79人	141人	137人				
	・ボランティア受け入れ行事の中止等により回数及び参加者数に変動がある。							
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る					
	[説明]							
	・勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録の利用グループ数は 6 団体で、目標値 5 団体との差は+1 団体であった。 ・中央公民館開催「中高生ボランティア育成講座参加者は 137 人で、目標値 68 人との差は+69 人であった。							
課題及び今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ）							
	[具体的な課題及び取組] ・新たな登録グループや活動参加者の増加につながるよう、引き続き指定管理者と連携していく。							

基本目標

4 ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興

ふるさとの誇りを守り伝えるため、郷土の伝統芸能や文化財を市民共有の財産として、その保存、継承に取り組みます。また、子どもの文化体験活動を推進することにより、世代間交流を促し、あらゆる世代が共に文化芸術を楽しむ場をつくります。

【施策の方向性】

① 子どもの文化体験活動支援

相談体制を整えることにより、学校における文化芸術体験や親子の伝統文化体験活動を支援します。

② 地域固有の文化芸術の継承

学校や地域と連携し、地域固有の文化芸術である民俗芸能や民俗行事の継承活動を支援します。

③ 文化財等の調査・保存・活用の推進

文化財等や歴史資料、その他の資料の分類・整理を進め、活用を進めていきます。また、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。

大橋 純一 氏

地域に受け継がれてきた文化や文化財を保存するだけでなく、それらを次世代へ継承し、市民に広く活用してもらうための取組が進められていることがうかがえました。文化の継承を支える基盤づくりに継続して取り組んでいる点は高く評価できます。

子どもの文化体験活動については、学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業への申請校数が6校となり、学校現場の関心の高まりが見られました。能代市民ミュージカルには871人が来場し、多くの市民が文化芸術に親しむ機会となったことも注目されます。

民俗芸能の継承においては、保存会の会員減少や高齢化という課題が続いているものの、学校との連携による体験活動や子ども民俗芸能発表会の開催、用具整備への支援など、将来を見据えた取組が行われています。また、民俗芸能アーカイブの視聴数は22,671回となり、デジタル技術を活用した保存と発信の取組が着実に成果を上げていることもうかがえます。

文化財の保存・活用については、資料整理やデータベース化が進められたほか、個人所蔵資料の受入れや調査活動も継続されました。文化財を将来にわたって継承し、市民や研究者が活用できる環境整備が進められている点は重要です。さらに、檜山安東氏城館跡については、大雨災害への対応により見学会等の実施が困難な状況にありながらも、発掘調査や史跡整備、復旧工事が適切に進められました。文化財保護の観点を維持しながら事業を継続した関係者のご努力に敬意を表します。

文化芸術や文化財は、地域の歴史や価値観を次世代へ伝える重要な共有財産です。今後も学校や地域、関係団体との連携を深めながら、ふるさとへの理解と誇りを育む取組が一層充実していくことを期待します。

佐藤 俊之 氏

ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興は、子どもの体験活動、地域の継承活動、調査・保存などの面から着実に進められました。

能代市伝統文化和装礼法教室や日本舞踊子ども教室の開催は、実際に体験できる貴重な機会になったと思います。また、芸術鑑賞教室、市民ミュージカルの公演や能代ミュージカルキッズ（練習等）は、本物に触れたりプロの指導を受けたりすることで、学校の教室では得られない生きた学びの機会になりました。普段、触れることの少ないこれらの芸術は、子どもたちの感性に刺激を与え、芸術を一層楽しむことができたと思います。

民俗芸能振興事業では、学校や地域と連携して継承活動を支援しました。地域固有の文化芸術である民俗芸能・民俗行事の継承活動は、子どもたちが自分のふるさとに誇りをもち、アイデンティティの形成や郷土愛の醸成につながります。また、大人たちは自分の知識や技術を伝えることに大きな喜びと生きがいをもちます。アーカイブ公開動画数も目標を達成しており、その活用が期待されます。

文化財等や歴史資料、その他の資料の分類・整理及び活用については、新たな指定・登録、調査、寄贈寄託受入、データベース化、展示・貸出など、様々な方法で取り組んでいます。課題であるデータベース公開率については、今後の努力に期待します。

檜山安東氏城館跡保存管理事業は、発掘調査・整備・管理・き損工事、普及活動など、きめ細やかに進めています。引き続き保存・活用等の取組をお願いします。

事業・取組	市民文化振興事業、文化会館主催事業						4－①																										
方針・目標	学校における文化芸術体験や親子の伝統文化体験活動を支援します。																																
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																										
	※R7より目標を追加 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業 申請校数 (旧 子供育成推進事業) (実績値)=(実数) [目標設定基準：R5-6 平均値]	目標			2 以上																												
		実績	3	2	6																												
	学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業 実施(採択)数 (旧 子供育成推進事業) (実績値)=(実数) [目標設定基準：R4 実績値]	目標	2 以上																														
		実績	3	2	0																												
	伝統文化親子教室事業数 (実績値)=(実数) [目標設定基準：R4 実績値]	目標	3 以上																														
		実績	3	2	2																												
実績及び成果	1 市民文化振興（文化芸術団体等への支援等） ・文化芸術による学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（文化庁） R7：小学校5校、中学校1校申請したが不採択により0校 ・伝統文化親子教室事業（文化庁／採択2事業） ◇能代市伝統文化和装礼法親子教室 ◇のしろ日本舞踊子ども教室小桜の会 ・芸術文化活動事業費補助金（ミュージカル等公演費の補助） 能代市民ミュージカル 650 千円（3/15 来場 871 人/出演 90 人） ・能代ミュージカルキッズ支援（練習会場使用料等の補助）→R7 公演なし ・その他（後援、文化会館助成等） 2 文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室等）との連携 ・令和7年度 <table><tr><td>事業名</td><td>開催日</td><td>対象</td><td>入場者</td></tr><tr><td rowspan="4">公共ホール音楽活性化支援事業 「加藤文枝チェロ・リサイタル」 学校アクティビティ</td><td rowspan="2">9/4</td><td>二ツ井中3年</td><td>40名</td></tr><tr><td>二ツ井小6年</td><td>24名</td></tr><tr><td rowspan="2">9/5</td><td>浅内小4・5・6年</td><td>27名</td></tr><tr><td>第五小3年</td><td>24名</td></tr></table> ・令和6年度 <table><tr><td>事業名</td><td>開催日</td><td>対象</td><td>入場者</td></tr><tr><td rowspan="2">公共ホール音楽活性化支援事業「金子三勇士」学校アクティビティ</td><td rowspan="2">9/6</td><td>能代東中1年</td><td>27名</td></tr><tr><td>第五小3年</td><td>24名</td></tr></table>								事業名	開催日	対象	入場者	公共ホール音楽活性化支援事業 「加藤文枝チェロ・リサイタル」 学校アクティビティ	9/4	二ツ井中3年	40名	二ツ井小6年	24名	9/5	浅内小4・5・6年	27名	第五小3年	24名	事業名	開催日	対象	入場者	公共ホール音楽活性化支援事業「金子三勇士」学校アクティビティ	9/6	能代東中1年	27名	第五小3年	24名
事業名	開催日	対象	入場者																														
公共ホール音楽活性化支援事業 「加藤文枝チェロ・リサイタル」 学校アクティビティ	9/4	二ツ井中3年	40名																														
		二ツ井小6年	24名																														
	9/5	浅内小4・5・6年	27名																														
		第五小3年	24名																														
事業名	開催日	対象	入場者																														
公共ホール音楽活性化支援事業「金子三勇士」学校アクティビティ	9/6	能代東中1年	27名																														
		第五小3年	24名																														
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																														
[説明] ・7年度より学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（旧 子供育成推進事業）																																	

	の「申請校数」を追加設置した。目標値はR5-6 平均値から2校以上とした。 ・学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業 申請校数は6校で、目標値2校との差は+4校であった。 ・学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業 実施（採択）数は不採択により0事業で、目標値2事業との差は△2事業であった。 ・伝統文化親子教室事業数は2事業で、目標値3事業との差は△1事業であった。
課 題 及 び 今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・市ホームページや広報を中心に情報提供を行う。 ・各種助成事業等については、引き続き様々な団体が利活用できるよう、わかりやすい周知に努める。 ・指定管理者と連携し、文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室等）との連携を図る。

事業・取組	民俗芸能振興事業						4-②																	
方針・目標	学校や地域と連携し、地域固有の文化芸術である民俗芸能や民俗行事の継承活動を支援します。																							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																	
	民俗芸能アーカイブ公開動画数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	241	242	243	244	245																	
		実績	241	247	247																			
実績及び成果	1 能代市民俗芸能連合会の活動を支援した。 ・構成団体数（単位保存会数/R8.3.31 現在）：15 団体（前年比△1） ・合同発表会 能代会場：10/12 アリナス 4 団体出演 二ツ井会場：10/26 二ツ井伝承ホール 5 団体出演																							
	2 後継者育成事業を支援した。 ・子ども民俗芸能発表会：11/9 二ツ井伝承ホール 出演：鰺淵番楽・鶴形ささら・富根報徳番楽 中学生 5 人・高校生 2 人 参加者数：約 50 人 ・鳥形獅子踊り奴踊り：向能代小学校正課クラブ活動 ・道地佐々楽・檜山舞・鰺淵番楽・鶴形ささら： 能代東中学校体験活動・合同発表会																							
	3 用具整備を支援した。 ・鳥形獅子踊り保存会：鳥形獅子踊り奴踊り 扇新調 ・鰺淵番楽保存会：鰺淵番楽太鼓補修・笛新調 ※一部県補助 鰺淵番楽作務衣新調																							
	4 民俗芸能の記録保存を支援した。 能代市民俗芸能アーカイブ（YouTube） ※令和 4 年度運用開始																							
	<table><tr><td></td><td>6 年度</td><td>7 年度</td><td>前年比</td></tr><tr><td>チャンネル登録者数（人）</td><td>101</td><td>114</td><td>13</td></tr><tr><td>公開動画数（本）</td><td>247</td><td>247</td><td>0</td></tr><tr><td>視聴数（回）</td><td>18,250</td><td>22,671</td><td>4,421</td></tr></table>									6 年度	7 年度	前年比	チャンネル登録者数（人）	101	114	13	公開動画数（本）	247	247	0	視聴数（回）	18,250	22,671	4,421
		6 年度	7 年度	前年比																				
	チャンネル登録者数（人）	101	114	13																				
	公開動画数（本）	247	247	0																				
	視聴数（回）	18,250	22,671	4,421																				
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																					
	[説明] ・民俗芸能アーカイブ公開動画数は 247 で、目標値 243 との差は+4 であった。 ・徐々にチャンネル登録者数、視聴者数を増やしている。																							
課題及び 今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ）																							
	[具体的な課題及び取組] ・地域コミュニティが縮小していく現状では、地域外の人材を呼び込むこと、存続している行事を記録すること、休止・消滅した行事の記録・用具等を収集保管することが、今後の支援の方向性となるため、休止した芸能の用具の保管及び民俗芸能アーカイブの運用促進に取り組む。 ・学校との連携においては、学校での活動のあり方、指導する人材、児童生徒の興味関心、発表の場など、複合的な課題がある。引き続き連携のあり方を検討していく。 ・会員数の減少と高齢化は各保存会共通の課題であるが、即効的な対応は困難で																							

	ある。今後も連合会と連携し、用具修繕への補助など、単位保存会への支援を継続していく。
--	--

事業・取組	文化財保護事業／能代文化財資料収蔵庫管理費										4－③																																																																																																					
方針・目標	文化財等や歴史資料、その他の資料の分類・整理を進め、活用を進めていきます。																																																																																																															
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																								
	指定・登録文化財数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]		目標	101 以上																																																																																																												
			実績	101	102	102																																																																																																										
	収蔵庫データベース公開率 (実績値)=((公開件数)/(R6.3.31 現在収蔵件数))×100		目標値		40%	100%	110%	120%																																																																																																								
			実績		4%	4%																																																																																																										
	※R7 より目標を追加 収蔵庫データベース作業進捗率 (実績値)=((目録整理・データ化件数)/(R6.3.31 現在収蔵件数))×100		目標値			50%	90%	100%																																																																																																								
			実績			53%																																																																																																										
実績及び成果	1 指定・登録文化財 (R8.3.31 現在) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="7">有形文化財</th><th rowspan="2">無形文化財</th><th rowspan="2">有形民俗文化</th><th rowspan="2">無形民俗文化</th><th colspan="3">記念物</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th>建造物</th><th>絵画</th><th>彫刻</th><th>工芸</th><th>書跡</th><th>考古</th><th>歴史資料</th><th>史跡</th><th>名勝</th><th>天然記念物</th></tr><tr><td>国指定</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>県指定</td><td>2</td><td></td><td>4</td><td></td><td>3</td><td>4</td><td>1</td><td></td><td></td><td>7</td><td>4</td><td></td><td>4</td><td>29</td></tr><tr><td>市指定</td><td>5</td><td>12</td><td>2</td><td>14</td><td>15</td><td>2</td><td></td><td></td><td>6</td><td>8</td><td>1</td><td></td><td>2</td><td>67</td></tr><tr><td>国登録</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr><tr><td>計</td><td>11</td><td>12</td><td>6</td><td>14</td><td>18</td><td>6</td><td>1</td><td></td><td>6</td><td>15</td><td>7</td><td></td><td>6</td><td>102</td></tr></table> 2 個人所蔵の資料調査及び寄贈寄託受入、市所蔵資料の分類整理 ・資料整理 旧市史編さん事業収集資料・古写真パネルの整理 大型資料デジタル撮影（絵画・収蔵庫分）55 点 豊嶋家資料（多賀谷家資料含む） ・資料調査 農具・切石観音堂仏像・佐々木家伝来甲冑・ 中田家所蔵資料ほか ・寄贈寄託受入 大原省三画「牛丸兵衛肖像画」 大原省三画「コレクション」ほか 3 点 ガラス湿板 武藤正陽公肖像写真ほか 1 点 秋田木材株式会社関係資料 塚本武三画 六曲屏風「牡丹」ほか 3 文化財等の活用（写真掲載等は除く） 特別展示 : なし 他機関等貸出: 考古資料 2 点（更新含む）／古文書 2 点 民俗資料 9 点 ※ 貸出先：秋田県立博物館・能代図書館・淳城南小学校 資料調査 : 考古資料 6 件／調査記録 1 件 4 関係団体学習活動等の支援 ①秋田県文化財保護協会能代支部 ・市外研修会「中世都市十三湊と安藤氏を巡る研修会」 共催 10/31 於：市浦歴史民俗資料館・福島城跡・十三湊遺跡 ほか													有形文化財							無形文化財	有形民俗文化	無形民俗文化	記念物			合計	建造物	絵画	彫刻	工芸	書跡	考古	歴史資料	史跡	名勝	天然記念物	国指定											2			2	県指定	2		4		3	4	1			7	4		4	29	市指定	5	12	2	14	15	2			6	8	1		2	67	国登録	4													4	計	11	12	6	14	18	6	1		6	15	7		6	102
	有形文化財							無形文化財	有形民俗文化	無形民俗文化	記念物			合計																																																																																																		
	建造物	絵画	彫刻	工芸	書跡	考古	歴史資料				史跡	名勝	天然記念物																																																																																																			
国指定											2			2																																																																																																		
県指定	2		4		3	4	1			7	4		4	29																																																																																																		
市指定	5	12	2	14	15	2			6	8	1		2	67																																																																																																		
国登録	4													4																																																																																																		
計	11	12	6	14	18	6	1		6	15	7		6	102																																																																																																		

	参加者：30 人 【満足度 平均 4.9 98%】 ②二ツ井町文化財保護協会 ・市外研修会「檜山御前のルーツを訪ねて」 共催 7/ 1 於：大湯大圓寺ほか 参加者：13 人 【満足度 平均 4.8 96%】 5 文化財資料収蔵庫収蔵品管理システムの整備 https://www.city.noshiro.lg.jp/res/rekishi/syuuzouko/25186 【データベース登録・公開件数】（R8.3.31 現在） 考 古（復元土器など）： 253 件（うち公開 253 件 画像 104 件） 出土遺物コンテナ： 780 件（うち公開 780 件 画像 1 件） 歴史資料： 124 件（うち公開 82 件 画像 125 件） 能代春慶塗： 468 件（うち公開 451 件 画像 364 件） 美術工芸（絵画・書跡）： 64 件（うち公開 64 件 画像 130 件）		
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・指定・登録文化財数は昨年度と同じく 102 で、目標値 101 との差は+1 である。 ・収蔵庫データベース（収蔵品管理システム）の公開率は、小数点以下の増加であり昨年度と同じ 4%、目標値 100%との差は△96 ポイントであった。 ・7 年度より目標として、収蔵庫データベース作業進捗率を追加設定した。資料整理、目録作成、画像撮影、データ登録までの一連の作業を進捗率として示している。 ・収蔵庫データベース作業進捗率は 52.7%で、目標値 50%と差は+2.7%であった。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ）		
	[具体的な課題及び取組] ・収蔵施設を拠点として市所蔵資料の保管、整理を進めるとともに、個人所蔵文化財の所在調査（追跡調査）及び情報収集に努め、市外への流出や散逸が懸念されるものについては、市への寄贈寄託を依頼していく。 ・収蔵庫の収蔵資料データベースの作成と公開を進め、市民や調査研究者が資料情報へ容易にアクセスできる基盤を整備する。 ・専門機関や団体と連携しながら、研修会や講座、特別企画展示等を開催することで、文化財等の活用を図っていく。		

事業・取組	檜山安東氏城館跡保存管理事業						4－③																				
方針・目標	国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。																										
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9																			
	見学会・報告会・ガイド研修会 等参加者数（延べ人）		目標	40人以上																							
			実績	40人	27人	－																					
実績及び成果	1 発掘調査 6年度に引き続き通称「本丸」の調査を実施した。 調査整備委員会：9/18 ※現地指導は随時実施 調査箇所：通称「本丸」補足調査 調査期間：4/14～5/30 調査面積：約30㎡																										
	2 史跡活用のための整備 計画に基づく整備を行った。 景観伐木：支障木・危険木伐採（古城地区） 約80本 集積木運搬処理：枅形虎口～将軍山 約15t 史跡全体説明板設置（通称「二の丸」下） 1基																										
	3 史跡管理のため除草を行った。 延べ29ha 檜山城跡：遺構箇所 11ha×2回、遊歩道2回 大館跡：遺構箇所 7ha×1回																										
	4 史跡き損に対応した。 令和5年7月大雨災害による法面崩落 4ヵ所 ：令和5年7月大雨被害き損箇所復旧工事 令和7年8・9月大雨災害による法面崩落 3ヵ所 ：測量及び工事実施設計・施工箇所追加により本体工事工期延長 ・11/25 文化庁文化財調査官 現地指導																										
	5 教育普及活動を行った。 ＜のしろ檜山周辺歴史ガイドの会 対応＞ 能代東中学校1年部ふるさと学習 5/7～8 参加者 35人 能代東中学校ガイドデビュー 11/2 参加者 35人 ※檜山城跡発掘調査見学会は復旧工事のため実施せず																										
	6 のしろ檜山周辺歴史ガイドの会と連携した。																										
	<table><tr><td colspan="2"></td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td></tr><tr><td colspan="2">会員数（名）</td><td>28</td><td>26</td><td>21</td></tr><tr><td rowspan="2">ガイド実績</td><td>件数</td><td>31</td><td>18</td><td>11</td></tr><tr><td>人数</td><td>489</td><td>435</td><td>546</td></tr></table>										5年度	6年度	7年度	会員数（名）		28	26	21	ガイド実績	件数	31	18	11	人数	489	435	546
			5年度	6年度	7年度																						
	会員数（名）		28	26	21																						
	ガイド実績	件数	31	18	11																						
人数		489	435	546																							
点検・評価	評価	B																									
	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																										
[説明] ・大雨災害き損箇所復旧工事実施により檜山城跡古城地区を立入禁止としたため、見学会等を開催することができず、目標指標の計測が不能であった。 ・き損復旧工事は、調査整備委員会及び国の指導を受けながら史跡保護の観点から適切に進めることができた。 ・調査整備委員会の意見を取り入れながら、発掘調査及び史跡整備を実施することができた。																											

課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
	[具体的な課題及び取組] ・ 調査整備委員会や国（文化庁）調査官の意見を踏まえながら、発掘調査及び整備を実施する。 ・ 調査総括報告書の作成後、平成２８年９月策定「史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画」に基づいた事業の成果と課題を踏まえながら保存活用計画策定に向かう。 ・ 史跡への関心を高めるための情報発信のあり方を検討し、様々な手法によるタイムリーな情報提供に努める。 ・ 民間業者によるき損対応の公有化については、当該地の境界について疑義があるため、専門家の協力を仰ぎながら進めていく必要があるほか、高額な測量費用の予算化の目途が立たず、事業化が困難な状況にある。

基本目標

5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進

市民や関係団体等と連携・協働しながら、だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、健康で豊かな生活を営む元気なまちを目指します。また、スポーツを活用して交流人口の拡大を図るとともに、地域に活力をつくり出します。

【施策の方向性】

① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動を支援し、体力の向上に努めるとともに、地域における子ども・若者のスポーツ機会の充実を図ります。

② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

体力や年齢等に応じて、日常的に運動やスポーツを楽しみながら、体力づくり、健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。

③ スポーツを活用した地域の活性化

バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致、トップアスリート等によるスポーツ教室の実施により交流人口の拡大に努めます。

④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

スポーツクラブ等への支援や地域スポーツ指導者・協議スタッフ等の人材育成・支援に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。

大橋 純一 氏

今年度の取組からは、スポーツを通じた健康づくりと地域の活性化が着実に進められていることがうかがえます。子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージに応じてスポーツに親しむ機会が提供されており、「スポーツで輝く夢のあるまちづくり」という基本目標に沿った取組が展開されたものと考えます。

特に、子どものスポーツ機会の充実に関する取組は顕著な成果を上げています。新体力テストでは、県平均を上回る学年（男女別）の割合が 100%となり、全ての学年で県平均を上回る結果となりました。スポーツ少年団や地域スポーツクラブ、各種スポーツイベントなどを通じて、日常的に運動に親しむ環境づくりが進められてきた成果の表れといえるでしょう。また、部活動の地域展開に向けた協議や体制整備も進められており、少子化が進む中であっても、子どもたちが継続してスポーツに取り組める環境づくりが図られています。

市民のスポーツ活動についても、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率が 54.5%となり、目標値を上回りました。各種スポーツ教室や健康づくり事業、高齢者向けの運動プログラムなどが継続的に実施されており、スポーツを通じた健康づくりへの意識が着実に浸透していることがうかがえます。健康寿命の延伸が重要な課題となる中、こうした取組の意義は今後さらに高まるものと思われます。

また、スポーツを活用した地域づくりの面でも成果が見られました。特色あるスポーツイベントの参加者数は 4,866 人となり目標値を上回ったほか、「バスケの街づくり」に関する事業も活発に展開されています。能代市ならではのスポーツ資源を生かしながら交流人口の拡大や地域の魅力発信につなげている点は高く評価できます。スポーツを単なる競技活動にとどめず、地域振興やまちづくりに結びつけている点は、能代市の大きな特色といえるかと思えます。

一方で、スポーツ施設の人口 1 人当たり年間利用者数は目標値に届いておらず、施設の有効活用や利用促進には引き続き取り組む必要があります。また、地域スポーツを支える指導者の確保・育成も重要な課題です。施設整備や人材育成といった基盤づくりを進めながら、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境のさらなる充実を期待します。

佐藤 俊之 氏

健康で豊かな生活を送れるよう、幅広い世代がスポーツに親しみ、スポーツを楽しめるような取組が多く分野で展開されました。

まず、小・中学生の新体力テストの結果ですが、小 1～中 3 までの 9 学年男女すべてで体力合計点平均が県平均を上回っています。県平均を上回っている学年の割合は、R 5～7 で 55.5%→72.2%→100%と高くなりました。すばらしい結果です。関係団体と連携を図り効果的に事業展開がなされています。

次に、青・壮年期の人たちにはマシントレーニング・山登り等の教室、サッカークリニック、各種講座（太極拳、ヨーガ、フィットネス他）など参加機会の拡充に努め、また、高齢者にはシルバースポーツの日を設けたり、シルバー向けの各種講座を開催するなど、その環境整備に取り組みました。その結果、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率が 54.5%と目標を達成しました。

スポーツを活用した地域づくり、交流人口の拡大、「バスケの街づくり」については、きみまち二ツ井マラソン、能代カップ（高校バスケットボール）と連携したり、スポーツ合宿（バスケット、野球）の誘致に取り組んだりしました。また、市教育長ミニバスケットボール大会の主催、

バスケットボール関係事業の支援、屋外バスケットボールリングの設置などをしました。その成果として特色あるイベントの参加者数が目標を大きく上回りました。

さらに、地域のスポーツ指導者等の育成、スポーツ施設の充実、スポーツに関する表彰制度の整備に努め、スポーツをする人口拡充とスポーツに取り組む意欲の向上を図りました。

スポーツで輝く夢のあるまちづくりは、順調に進んでいるものと判断できます。

事業・取組	1 子どもの体力向上の推進 2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進						5-①
方針・目標	心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、スポーツ少年団や地域のスポーツ活動等を支援し、体力の向上に努めるとともに、競技力向上を図ります。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	新体力テスト体力合計点平均が県平均を上回る学年（男女別）の割合	目標	50%以上				
	(実績値)=((県平均を上回る学年(男女別)の数)/(2×9 学年))×100	実績	55.5%	72.2%	100%		
実績及び成果	1 子どもの体力向上の推進 関係団体と連携し、各種事業を通して運動の習慣化等に取り組んだ。 ○主な事業 ・能代市 きみまち二ツ井マラソン 参加者1,825人、うち小・中学生243人 R6：参加者1,912人、うち小・中学生306人 NOSHIROバスケットボールフェスタ 8/4 56人 R6：80人 ・指定管理者 マリンスポーツ教室 16回 41人 R6：16回 46人 スポレクフェスタのしろ 10/13 336人 R6：273人 ふたつい 1/18 139人 R6：74人 ファミリースポーツ水泳塾・体操塾・陸上塾・スポーツ塾 各4回 計210人 R6：各4回164人 ・市スポーツ協会 ブラウブリッツ秋田サッカークリニックin能代 10/12 31人 R6：19人 能代市ドッジボール大会 2/8 350人 R6：266人 ・総合型地域スポーツクラブ 親子でエンジョイダンス 22回 128人 R6：24回 150人 ・市スポーツ少年団 ニュースポーツ普及交流大会スポレクフェスタのしろ兼能代市スポーツ少年団交流大会 10/13 336人 R6：273人 体力テスト（7種目のうち、5m時間往復走、腕立て伏せ、立ち3段跳びを各団で測定し結果提出） 2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進 ・スポーツ少年団の活動への支援 スポーツ少年団への活動費の支援 指導者研修会の開催及び情報提供 ・中学校部活動の地域展開の推進 コーディネーターの設置、関係団体等との意見交換・連絡調整 能代市部活動地域移行推進協議会の開催（全5回） 能代市部活動地域移行推進計画の見直し NOSHIROソフトボールクラブの運営						
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る				

	[説明] 新体力テストにおける体力合計点の平均が県平均を上回る学年の（男女別）の割合は100%で、目標値50%との差は+50ポイントであった、 $(18 \div (9 \text{ 学年} \times 2) \times 100) = 100\%$ 【体力合計点平均（新体力テスト／7年度）】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">小1</th><th colspan="2">小2</th><th colspan="2">小3</th><th colspan="2">小4</th><th colspan="2">小5</th><th colspan="2">小6</th></tr> <tr> <th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td><td>31.10</td><td>31.17</td><td>38.94</td><td>39.24</td><td>45.14</td><td>45.87</td><td>50.21</td><td>51.80</td><td>55.80</td><td>57.57</td><td>61.39</td><td>61.92</td></tr> <tr> <td>能代市</td><td>33.07</td><td>35.05</td><td>42.68</td><td>41.13</td><td>47.83</td><td>47.49</td><td>53.14</td><td>54.23</td><td>57.13</td><td>58.60</td><td>62.87</td><td>65.14</td></tr> <tr> <td>比較</td><td>1.97</td><td>3.88</td><td>3.74</td><td>1.89</td><td>2.69</td><td>1.62</td><td>2.93</td><td>2.43</td><td>1.33</td><td>1.03</td><td>1.48</td><td>3.22</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">中1</th><th colspan="2">中2</th><th colspan="2">中3</th></tr> <tr> <th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td><td>35.55</td><td>45.36</td><td>45.34</td><td>49.89</td><td>51.64</td><td>51.82</td></tr> <tr> <td>能代市</td><td>37.79</td><td>49.73</td><td>46.07</td><td>52.36</td><td>52.40</td><td>55.19</td></tr> <tr> <td>比較</td><td>2.24</td><td>4.37</td><td>0.73</td><td>2.47</td><td>0.76</td><td>3.37</td></tr> </tbody> </table>		小1		小2		小3		小4		小5		小6		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	31.10	31.17	38.94	39.24	45.14	45.87	50.21	51.80	55.80	57.57	61.39	61.92	能代市	33.07	35.05	42.68	41.13	47.83	47.49	53.14	54.23	57.13	58.60	62.87	65.14	比較	1.97	3.88	3.74	1.89	2.69	1.62	2.93	2.43	1.33	1.03	1.48	3.22		中1		中2		中3		男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	35.55	45.36	45.34	49.89	51.64	51.82	能代市	37.79	49.73	46.07	52.36	52.40	55.19	比較	2.24	4.37	0.73	2.47	0.76	3.37
	小1		小2		小3		小4		小5		小6																																																																																								
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																							
秋田県	31.10	31.17	38.94	39.24	45.14	45.87	50.21	51.80	55.80	57.57	61.39	61.92																																																																																							
能代市	33.07	35.05	42.68	41.13	47.83	47.49	53.14	54.23	57.13	58.60	62.87	65.14																																																																																							
比較	1.97	3.88	3.74	1.89	2.69	1.62	2.93	2.43	1.33	1.03	1.48	3.22																																																																																							
	中1		中2		中3																																																																																														
	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																													
秋田県	35.55	45.36	45.34	49.89	51.64	51.82																																																																																													
能代市	37.79	49.73	46.07	52.36	52.40	55.19																																																																																													
比較	2.24	4.37	0.73	2.47	0.76	3.37																																																																																													
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] 1 子どもの体力向上の推進 幼児から児童生徒まで運動の習慣化に繋げていくため、関係団体と連携しながら引き続き効果的な事業展開を図る。 2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進 中学校部活動の地域展開を推進しつつ、今後も少子化等によりスポーツ少年団の減少が見込まれることから、子ども達が活動しやすい環境づくりを目指し、事業を推進する。																																																																																																		

事業・取組	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 3 健康づくり運動の推進						5-②
方針・目標	体力や年齢等に応じて、日常的に運動やスポーツを楽しみながら、体力づくり、健康づくりに取り組み続けることができる環境を整えます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	目標	50%以上				
	(実績値)=(市民意識調査結果)	実績	49.0%	51.2%	54.5%		
実績及び成果	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 関係団体と連携し子育て世代等の運動機会の確保に取り組んだ。 ○主な事業 ・指定管理者 はじめてのマシントレーニング教室 8回(昼の部4回、夜の部4回)計48人 R6:4回(秋4回、春4回)計32人 はじめての山登り教室 4回 計31人 R6:4回 計79人 リズムdeステップ 8回 計152人 R6:8回 計39人 ・市スポーツ協会 ブラウブリッツ秋田サッカークリニックin能代 10/12 31人 R6:19人 ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※太極拳、ヨーガ、フィットネス他 延べ5,171人 R6:延べ5,854人 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体と連携し福祉と連動した健康づくり事業を展開している。 ・指定管理者 シルバースポーツの日 24回 953人 R6:24回 1,148人 ※ラージボール卓球、ユニカール他 二ツ井シルバースポーツの日 24回 329人 R6:24回 280人 ※ラージボール卓球、ユニカール他 ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※ラージ卓球、シルバー運動、スローエアロビクス他 延べ1,935人 R6:延べ1,862人 3 健康づくり運動の推進 ・のしろ歩け歩け大会 9/6 31人 R6:54人						
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る				
	[説明] ・成人の週1回以上のスポーツ実施率は54.5%で、目標値50%との差は+4.5ポイントであった。 【市民意識調査】 7年度:54.5%(6年度:51.2%)						

課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
	[具体的な課題及び取組] 1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 継続事業は、各種教室や研修会等それぞれの団体において実施できている。成人の週1回以上のスポーツ実施率は微増したものの、引き続きニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫に加えて、気軽にスポーツができる方法を検討していく。 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。 3 健康づくり運動の推進 のしろ歩け歩け大会を実施するなど、各種イベント定期的に開催している。各団体や地域と連携を深め、週1回以上のスポーツ実施率を引き上げられるよう、引き続きスポーツの習慣化を図っていく。

事業・取組	1 スポーツを活用した地域づくり 2 スポーツによる交流人口の拡大 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進						5-③
方針・目標	バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致や支援による交流人口の拡大に努めます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	特色あるスポーツイベントの参加者数 (実績値)=(実数)	目標	4,000人以上				
		実績	4,144人	3,352人	4,866人		
実績及び成果	1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体と連携したスポーツ合宿等の取組 ・市スポーツ協会が中心となり実行委員会を組織し、バスケットボールキャラバンサマーリーグin能代を開催した。 2 スポーツによる交流人口の拡大 ① 関係団体、民間企業等と連携したスポーツによる交流の推進 ・きみまちの里フェスティバル（きみまち二ツ井マラソン、物産フェア）マラソン参加者数 1,825人 R6：1,912人 ② 大規模なスポーツ大会・イベントと連動した観光誘客 ・能代カップの開催 参加者数 166人 R6：183人 ③ スポーツ合宿の誘致 ・バスケットボールキャラバン・サマーリーグin能代 466人 R6：355人 ・帝京大学準硬式野球部の合宿 70人 R6：100人 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 ① 本物のバスケに触れられる街づくり ② バスケで誰もが集える環境づくり ③ バスケによる地域経済の活性化 ④ バスケがどこでも感じられる街づくり ・能代カップ等への補助金の交付や、市教育長杯ミニバスケットボール大会、バスケットボールフェスタ等の事業を市バスケットボール協会等に委託し継続した。 バスケ関連イベント参加者数 2,339人 R6：802人 ・屋外バスケットリングの設置 市内公園等 21カ所23基（7年度末）						
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る				
	[説明] ・特色あるスポーツイベントの参加者数は4,866人で、目標値4,000人との差は+866人であった。 【バスケ関連イベント・大会及びきみまち二ツ井マラソン等の参加者数の計】 7年度 4,866人 6年度 3,352人						

	※要因別の参加者数増減状況 秋田県民スポーツ大会 バスケットボール競技 1,025 人増
課 題 及 び 今 後 の 方 向 性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） [具体的な課題及び取組] 1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。 2 スポーツによる交流人口の拡大 ・スポーツイベントは競技団体が主体となることが多いことから情報収集し、円滑な運営をしていくよう引き続きノウハウの蓄積に努める。 ・市民への情報発信の方法（広報、市ホームページ、SNS等）について、関係団体と連携し、効率的な伝え方を工夫していく。 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。

事業・取組	1 地域のスポーツ指導者等の充実 2 スポーツ施設の充実 3 スポーツに関する表彰制度の整備						5-④
方針・目標	総合型クラブの設立支援と地域スポーツ指導者等の人材育成に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実に努めます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	スポーツ施設の人口1人当たりの年間利用者数 (実績値)=(年間利用者数)/(9月末人口)	目標	5.0人以上				
		実績	4.5人	4.5人	4.6人		
実績及び成果	1 地域のスポーツ指導者等の充実 ① 地域のスポーツ指導者の育成と活用 ・市スポーツ推進委員会、市スポーツ協会、市スポーツ少年団等研修会の開催や派遣を行った。 ・研修会参加等の支援を行った。 ・スポーツ少年団指導者資格数 32団体 164人 R6:35団体 129人 ② スポーツリーダーバンク等の整備・充実の支援 ・市スポーツ協会スポーツリーダーバンク登録者数 12種目 25人 R6:12種目 25人 2 スポーツ施設の充実 ① スポーツ施設の整備・改修 ・赤沼球場改修基礎調査 ・市民プール軒天修繕 ・能代市総合体育館の大規模改修 (冷房設備設置、床・天井の更新等R6.7~R7.6実施、R7.7供用再開) ② 学校体育施設等の活用 ・登録スポーツクラブ制度により、学校体育館開放を継続して行った。 (淳城西小、淳城南小、第四小、第五小、向能代小、浅内小) 利用者数 8,081人 R6:9,860人 ③ 利用者ニーズに対応した施設の管理運営と利用促進 ・指定管理者による定期点検など安全管理を行っている。 ・施設利用者アンケートの結果を反映して改善に努めた。 ・施設年間利用者数 214,886人 R6:205,877人 ④ 自然環境や屋外施設を活用したスポーツと健康づくりの推進 ・市主催 のしろ歩け歩け大会 参加者数 31人 R6:54人 ・指定管理者 マリンスポーツ教室 16回 41人 R6:16回 46人 3 スポーツに関する表彰制度の整備 児童・生徒の表彰(能代市栄光賞、市スポーツ協会スポーツ賞)を継続して行った。 ・能代市栄光賞(スポーツ部門) 249人 R6:202人 ・市スポーツ協会スポーツ賞 8人 R6:8人						

点 検 ・ 評 価	評価	B		A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり												
				C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る												
	[説明] ・スポーツ施設の人口1人当たりの年間利用者数は4.6人で、目標値5.0人との差は△0.4人であった。 【スポーツ施設の利用状況】 (人) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>6年度</td> <td>7年度</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>205,877</td> <td>214,886</td> </tr> <tr> <td>9月末人口</td> <td>47,472</td> <td>46,424</td> </tr> <tr> <td>人口1人当たりの年間利用者数 (利用者数／9月末人口)</td> <td>4.5</td> <td>4.6</td> </tr> </table>						6年度	7年度	利用者数	205,877	214,886	9月末人口	47,472	46,424	人口1人当たりの年間利用者数 (利用者数／9月末人口)	4.5	4.6
	6年度	7年度															
利用者数	205,877	214,886															
9月末人口	47,472	46,424															
人口1人当たりの年間利用者数 (利用者数／9月末人口)	4.5	4.6															
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 ()																
	[具体的な課題及び取組] 1 地域のスポーツ指導者等の充実 ・スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、そのための研修会や人材の発掘等については、引き続き各団体と連携し取り組んでいく。さらに、養成した指導者を効果的に活用するよう市スポーツ協会のスポーツリーダーバンク等による指導者の派遣を行っていく。 2 スポーツ施設の充実 ・適切な施設の維持管理を行う。 ・経年劣化している施設の整備について、計画的な修繕及び改修を行う。 ・長寿命化計画に基づき施設の改修計画の検討を行う。																

Ⅲ 教育委員会の運営状況

1 教育委員会の開催状況

(1) 開催状況

定例会 12回 臨時会 3回

(2) 審議された案件等

年月日	区 分	番 号	件 名
R7. 4. 24	定例会	承認 第 6 号	臨時代理の承認について（市長と教育委員会との 地方自治法第180条の2の規定に基づく協議書 について）
		承認 第 7 号	臨時代理の承認について（能代市教育委員会事務 決裁規程の一部改正について）
		承認 第 8 号	臨時代理の承認について（能代市指定有形民俗文 化財の指定解除について）
		議案 第 20 号	能代市学校運営協議会委員の任命について
		議案 第 21 号	能代市教育支援委員会委員の任命について
		議案 第 22 号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
R7. 5. 22	定例会	議案 第 23 号	能代市社会教育委員の委嘱について
		議案 第 24 号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案 第 25 号	能代市立図書館協議会委員の任命について
		議案 第 26 号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第 27 号	能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第 28 号	能代市部活動地域移行推進協議会委員の委嘱及び 任命について
		議案 第 29 号	令和7年度能代市一般会計補正予算案に対する意 見の申出について
R7. 6. 24	定例会	議案 第 30 号	能代市公民館条例の一部を改正する条例の一部の 施行期日を定める規則の制定について
R7. 7. 24	定例会	承認 第 9 号	臨時代理の承認について（能代市総合体育館条例 の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の 制定について）
		承認 第 10 号	臨時代理の承認について（能代市農林漁家婦人活 動促進施設条例の一部を改正する条例の施行期日 を定める規則の制定について）
		議案 第 31 号	能代市学校歯科医の委嘱について（追加）
R7. 8. 22	定例会	議案 第 32 号	能代市文化会館条例の一部を改正する条例案に対 する意見の申出について
		議案 第 33 号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価について
		議案 第 34 号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見 について（物品の取得について）

		議案 第 35 号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（文化会館自家発電設備等改修工事の請負契約について）
		議案 第 36 号	令和 7 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R7. 9. 24	定例会		なし
R7. 10. 23	定例会	承認 第 11 号	臨時代理の承認について（専決処分した令和 7 年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて）
		承認 第 12 号	臨時代理の承認について（専決処分した令和 7 年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて）
		承認 第 13 号	臨時代理の承認について（専決処分した令和 7 年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて）
R7. 11. 18	定例会	議案 第 37 号	能代市農林漁家婦人活動促進施設の指定管理者の指定に対する意見の申出について
		議案 第 38 号	物品の取得に対する意見の申出について
		議案 第 39 号	令和 7 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R7. 12. 5	臨時会	議案 第 40 号	能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 41 号	令和 7 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R7. 12. 25	定例会		なし
R8. 1. 21	定例会		なし
R8. 2. 9	定例会	議案 第 1 号	能代市学校医の委嘱について
		議案 第 2 号	能代市公民館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 3 号	能代市教育長の権限に属する事務の委任に関する規程の一部改正について
		議案 第 4 号	令和 7 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第 5 号	令和 8 年度能代市一般会計予算案に対する意見の申出について
R8. 2. 20	臨時会	議案 第 6 号	能代市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について
		議案 第 7 号	令和 8 年度能代市立小・中学校教職員の人事異動の内申について
R8. 3. 18	臨時会	承認 第 1 号	臨時代理の承認について（能代市人事異動発令について）
		議案 第 8 号	令和 8 年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について

R8. 3. 26	定例会	議案 第 9 号	能代市部活動地域移行推進協議会設置要綱の一部改正について
		議案 第 10 号	能代市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱の制定について
		議案 第 11 号	能代市立学校教職員が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業の許可に関する規程の制定について
		議案 第 12 号	能代市学校薬剤師の委嘱について
		議案 第 13 号	能代市地域学校協働活動推進員の委嘱について
		議案 第 14 号	能代市二ツ井公民館分館長及び主事補の委嘱について
		議案 第 15 号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
		議案 第 16 号	能代市スポーツ推進委員の委嘱について
		議案 第 17 号	令和 8 年度能代市学校教育の重点について
		議案 第 18 号	能代市部活動地域展開推進計画について
		報告 第 1 号	令和 8 年度能代市社会教育施設運営方針について

2 教育委員の活動状況

年月日	行 事
R7. 5. 28	能代山本市町教育委員会連合会総会
R7. 7. 11	東北六都市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
R7. 8. 14	能代市成人式
R7. 9. 29	能代市教育委員会学校訪問（淳城南小学校、能代第一中学校）
R7. 10. 2	能代市教育委員会学校訪問（浅内小学校）
R7. 10. 14	能代市教育委員会学校訪問（能代東中学校、東雲中学校）
R7. 10. 24	能代山本市町教育委員会連合会委員研修会
R7. 11. 5	秋田県市町村教育委員会連合会および秋田県都市教育長協議会合同研修会
R7. 11. 14	能代市教育委員会学校訪問（第五小学校）
R7. 11. 17	未来を創る能代っ子ふるさと会議
R7. 11. 19	能代市教育委員会学校訪問（淳城西小学校）
R7. 11. 25	能代市教育委員会学校訪問（能代第二中学校）
R8. 1. 14	第1回能代市総合教育会議
R8. 1. 16	市町村教育委員会研究協議会
R8. 3. 8	市立中学校卒業式
R8. 3. 10	市立小学校卒業式
R8. 3. 18	第2回能代市総合教育会議

能代市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和7年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1

(担当 教育総務課)

電 話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail kyouiku@city.noshiro.lg.jp